

1 就学前児童家庭の調査票

用 語 の 説 明

☆この調査で使用している用語の説明は以下のとおりです。
なお、別冊「練馬区の子育て支援制度の紹介」にも調査で出てくる子育て支援サービスの概要や利用料金が載っていますので併せてご参照ください。

- 幼稚園：学校教育法に定める3～5歳児に対して学校教育を行う施設です。
- 保育所（園）：児童福祉法に定める保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設です。
- 認定こども園：幼稚園と保育所（園）の機能を併せ持つ施設です。
- 認証保育所：東京都が独自に定めた保育所基準を満たし、東京都から認証を受けた認可外保育施設です。
- 保育室：区が指定する小規模な民間保育施設です。
- 家庭福祉員：保育士などの資格のある家庭福祉員が、自宅の一部を使って家庭的な雰囲気の中で、保育する事業です（保育ママ、駅型グループ保育室）。
- グループ型家庭的保育：区内の私立認可保育所の増設の保育者が協力して保育する家庭的保育事業です。
- 事業所内保育施設：企業が主に従業員用に運営する保育施設です。
- 居宅訪問型保育：保育者が子どもを家庭で保育する事業です。
- ファミリーサポートセンター：地域住民が子どもを預かる事業です。
- 子育て：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援の意味で用いています。
- 教育：問12までは家庭での教育を含めた広い意味、問13以降では幼児期の学校における教育の意味で用いています。

「練馬区 子ども・子育て支援事業計画」を作成するための
二一ス調査にご協力ください
(就学前児童家庭用)

平成24年8月に子ども・子育て支援法が成立し、早ければ平成27年度から新しい子ども・子育て支援制度が始まる予定です。新制度では、子育て中の区民の皆さまにアンケートを行い、その結果に基づいて、「地域の子育て支援をどのように実施するか」「今後どれくらい保育所や子育てのひろば等の施設を増やすか」などのサービスの内容や量を計画にまとめ、区として実施していくこととなります。

子育て中のお忙しい皆さまに、設問が多いアンケートをお願いして大変恐縮ですが、練馬区を安心して子どもを産み、楽しく子育てのできるまちとしていくために必要な調査となりますので、ぜひご協力をお願いいたします。

調査票については、住民基本台帳の中から、3,000人を無作為に選ばせていただきました。お答えいただいた内容については、すべて統計的に処理し、個々の回答やプライバシーに関わる内容が公表されたり、他の目的に利用されることは一切ありません。

この調査の趣旨をご理解いただき、調査票にご記入の上、同封の返送用封筒にて11月5日(火)までにご投函ください。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

平成25年10月

練馬区

【ご記入にあたってのお願い】

- この調査票では、あて名の保護者の方を「あなた」とします。ご本人がお答えください。
- 回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。その他回答については、() 内に内容を具体的に記入してください。
- 時刻の欄は、24時間制（例：「午後4時」は「16時」）でご記入ください。
- 特にことわりのない限り、すべての質問にお答えください。該当者だけにお答えいただく質問もあります。その場合は、質問の説明に従ってお答えください。
- この調査は無記名であり、皆様の回答はすべて統計的に処理し、本調査の目的以外には決して使用いたしませんので、思いのままをお答えいただきますようお願い申し上げます。
- アンケートに関してご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

練馬区 子ども家庭部 子育て支援課 子育て支援計画担当係
電話：03-5984-1306
FAX：03-5984-1220

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 あなたがお住まいの町名をお書きください。
練馬区 () (町)

封筒のあて名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 あて名のお子さんの生年月月をご記入ください (() 内に数字でご記入ください。)
平成 () 年 () 月生まれ

問3 あて名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。あて名のお子さんを含めた人数を () 内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。
きょうだい数 () 人 末子の生年月月 平成 () 年 () 月生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみられた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。
1. 母親 2. 父親 3. その他 ()

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。
1. 配偶者がいる 2. 配偶者がいない

問6 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主にしているのはどなたですか。お子さんからみられた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。
1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母 5. その他 ()

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問7 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

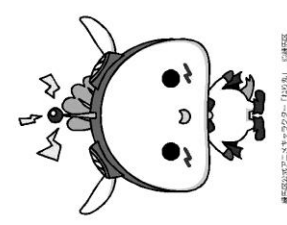
1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

問8 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. いる/ある ---▶【問9へ】 2. いない/ない ---▶【問10へ】

問9 問8で「1. いる/ある」に○をつけた方にうかがいます。
お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 配偶者・パートナー	2. その他の親族(親、兄弟姉妹など)
3. 隣近所の人、地域の知人、友人	4. 職場の人
5. 保育園、幼稚園、学校の保護者の仲間	6. 子育てサークルの仲間
7. 保育士、幼稚園の先生、学校の先生	8. かかりつけ医など
9. 保育園、幼稚園、学校の区担当窓口	10. 子ども家庭支援センター
11. 児童館、学童クラブ、地区区民館	12. 子育てのひろば「ひよびよ」「にこにこ」など
13. 総合福祉事務所の母子自立支援員	14. 民生・児童委員、主任児童委員
15. 総合教育センターの教育相談室	16. 保健所、保健相談所
17. 児童相談所(東京都児童相談センター)	18. 民間の電話相談
19. ベビーシッター	20. インターネットの子育てサイト
21. その他 ()	22. 相談すべきことはない



東京都子育て支援センター「ひよびよ」 ©JARISS

あて名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問10 あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親【父子家庭の場合は記入不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 就労しており、産休・育休・介護休業中ではない } 【(1) -1~】
 2. 就労しているが、産休・育休・介護休業中である }
 3. 以前は就労していたが、現在は就労していない }
 4. これまで就労したことがない } 【(2) ~】

(1) -1 (1) で「1.」「2.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（就業時間を含む）」、「就労形態」をお答えください。
 就労日数や就労時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください（日数と時間は、() 内に数字でご記入ください。就労形態は該当するものに○をつけてください。就労形態が「その他」の場合は「その他」に○をつけ、() 内に具体的な就労形態を記入してください。）。

1週当たり () 日 1日当たり () 時間
 就労形態 (正 規 ・ 派遣 ・ パート ・ アルバイト ・ その他 ())

(1) -2 (1) で「1.」「2.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。

(1) -2 (1) で「1.」「2.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間、必ず(例) 8時 00分～18時 30分のように、24時間制でお答えください() 内に数字でご記入ください。) 。

家を出る時刻 () 時 () 分 帰宅時刻 () 時 () 分

(2) 父親【母子家庭の場合は記入不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 就労しており、育休・介護休業中ではない } 【(2) -1~】
 2. 就労しているが、育休・介護休業中である }
 3. 以前は就労していたが、現在は就労していない }
 4. これまで就労したことがない } 【(2) ~】

(2) -1 (2) で「1.」「2.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（就業時間を含む）」、「就労形態」をお答えください。
 就労日数や就労時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください（日数と時間は、() 内に数字でご記入ください。就労形態は該当するものに○をつけてください。就労形態が「その他」の場合は「その他」に○をつけ、() 内に具体的な就労形態を記入してください。) 。

1週当たり () 日 1日当たり () 時間
 就労形態 (正 規 ・ 派遣 ・ パート ・ アルバイト ・ その他 ())

(2) -2 (2) で「1.」「2.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間、必ず(例) 8時 00分～18時 30分のように、24時間制でお答えください() 内に数字でご記入ください。) 。

家を出る時刻 () 時 () 分 帰宅時刻 () 時 () 分

問11 問10の(1) 母親または(2) 父親で「1.」「2.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。今後、就労状況を変更する希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけ、該当する () 内には数字をご記入ください。

(1) 母親

1. 就労日数・時間を増やす希望があり、実現できる見込みがある
 →増加後の日数等 1週当たり () 日 1日当たり () 時間 実現時期 () か月後
 2. 就労日数・時間を増やす希望はあるが、実現できる見込みはない
 →増加後の日数等 1週当たり () 日 1日当たり () 時間
 3. 今の就労を続けることを希望
 4. 仕事をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. 就労日数・時間を増やす希望があり、実現できる見込みがある
 →増加後の日数等 1週当たり () 日 1日当たり () 時間 実現時期 () か月後
 2. 就労日数・時間を増やす希望はあるが、実現できる見込みはない
 →増加後の日数等 1週当たり () 日 1日当たり () 時間
 3. 今の就労を続けることを希望
 4. 仕事をやめて子育てや家事に専念したい

問12 問10の(1) 母親または(2) 父親で「3. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「4. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問13へお進みください。今後、就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、日数、時間等については該当する () 内に数字をご記入ください。就労形態については該当するものに○をつけてください。就労形態が「その他」の場合は「その他」に○をつけ、() 内に具体的な就労形態を記入してください。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
 2. 1年より先、一番下の子どもが () 歳になったところに就労したい
 3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
 →希望時期 () か月後
 →希望する就労形態 ア、就労形態 正 規 ・ 派遣 ・ パート ・ アルバイト ・ その他 ()
 1. 就労日数・就労時間 →1週当たり () 日 1日当たり () 時間
 4. 就労の予定が決まっている
 → 開始時期 () 年 () 月から 1週当たり () 日 1日当たり () 時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
 2. 1年より先、一番下の子どもが () 歳になったところに就労したい
 3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
 →希望時期 () か月後
 →希望する就労形態 ア、就労形態 正 規 ・ 派遣 ・ パート ・ アルバイト ・ その他 ()
 1. 就労日数・就労時間 →1週当たり () 日 1日当たり () 時間
 4. 就労の予定が決まっている
 → 開始時期 () 年 () 月から 1週当たり () 日 1日当たり () 時間

あて名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます。

※ここという「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問13-1に示した事業が含まれます。

問13 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 利用している	---▶▶▶ 【問13-1へ】	2. 利用していない	---▶▶▶ 【問13-5へ】
-----------	-----------------	------------	-----------------

問13-1 問13-1～問13-4は、問13で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的」に利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園
2. 私立幼稚園の預かり保育（定期的な利用のみ。認定子ども園の預かり保育も含みます）
3. 認定こども園
4. 認可保育所
5. 認定保育所
6. 保育室
7. 家庭福祉員（保育ママ、駅型グループ保育室）
8. グループ型家庭的保育
9. 事業所内保育施設
10. 居宅訪問型保育
11. ファミリーサポートセンター
12. その他（ ）

問13-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時何分から何時何分まで）かを、（ ）内に具体的な数字でご記入ください。時間は、必ず（例）9時 00分～18時 00分のように24時間制でご記入ください。

（1）現在

1週当たり（ ）日
1日当たり（ ）時間（ ）時（ ）分～（ ）時（ ）分（ ）分（ ）分

（2）希望

1週当たり（ ）日
1日当たり（ ）時間（ ）時（ ）分～（ ）時（ ）分（ ）分（ ）分（ ）分

問13-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。

「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。

1. 練馬区内	2. 他の区市町村
---------	-----------

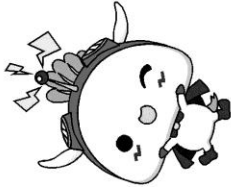
問13-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。
主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育て（教育を含む）をしている方が専任就労している
3. 子育て（教育を含む）をしている方が就労予定がある／求職中である
4. 子育て（教育を含む）をしている方が家族・親族などを介護している
5. 子育て（教育を含む）をしている方が病気や障害がある
6. 子育て（教育を含む）をしている方が学生である
7. その他（ ）

問13-5 問13で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

利用していない理由は何ですか。理由として最も当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 現状では利用する必要がない（子どもの教育や発達のため、子どもの母親が父親が就労していないなどの理由で）
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、教育・保育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 一時預かりを利用している
9. 子どもがまだ小さいため（ ）歳くらいになったら利用しようと考えている
10. 利用方法（手続き等）がわからない
11. その他（ ）



練馬区立デザインキャラクター「なんたん」のイラスト

問 14 すべての方にかかっています。現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平
日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業について、お子さんの成長にあわせて
年齢ごとに希望する事業を【A群：希望する教育・保育事業】から3つまで番号を記入してください（現
在のお子さんの年齢（平成25年4月1日時点の年齢）以降、5歳までについてお答えください。）。
また、その事業を希望する上で重視する条件について、あてはまる条件を【B群：事業を希望する上で重
視する条件】から3つまで番号を記入してください。

A群：希望する教育・保育事業（3つまで）		B群：事業を希望する上で重 視する条件（3つまで）		1.通当たり 希望日数	1日当たり 希望時間
0歳				日	時間
1歳				日	時間
2歳				日	時間
3歳				日	時間
4歳				日	時間
5歳				日	時間

【A群：希望する教育・保育事業】

1. 幼稚園（通常の就園時間の利用のみ）

2. 預かり保育のある幼稚園（通常の就園時間の利用+通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用）

3. 認定こども園

4. 延長保育のある認可保育所

5. 延長保育のない認可保育所

6. 認証保育所

7. 保育室

8. 家庭福祉員（保育ママ、駅型グループ保育室）

9. グループ型家庭的保育

10. 事業所内保育施設

11. 居宅訪問型保育

12. ファミリーサポートセンター

13. 利用希望なし

14. その他（ ）

【B群：事業を希望する上で重視する条件】

1. 教育・保育の内容や方針

2. 教員・保育者の質

3. 施設や設備

4. 園庭の有無

5. 保育時間

6. 認可の有無

7. 保育料

8. 自宅からの距離

9. 利用する駅や職場からの距離

10. その他（ ）

問 14-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。「1.」「2.」のいずれかに○をつけてくだ
さい。

1. 練馬区内	2. 他の区市町村
---------	-----------

あて名のお子さん地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問 15 あて名のお子さんは現在、親子が集まって通ったり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場を利用
していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回
数（頻度）を（ ）内に数字でご記入ください。

1. びよびよ（区立の子育てのひろば）

1. 通当たり（ ）回 もしくは 1か月当たり（ ）回程度

2. NPO法人などが運営している子育てのひろば

1. 通当たり（ ）回 もしくは 1か月当たり（ ）回程度

3. 民間学童保育施設の子育てのひろば

1. 通当たり（ ）回 もしくは 1か月当たり（ ）回程度

4. にここ（学童クラブ室を活用した子育てのひろば）

1. 通当たり（ ）回 もしくは 1か月当たり（ ）回程度

5. その他練馬区で実施している類似の事業（具体名： ）

1. 通当たり（ ）回 もしくは 1か月当たり（ ）回程度

6. 利用していない

問 16 問 15 のような子育てのひろば事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、
利用日数を増やしたいと思いませんか。当てはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を
（ ）内に数字でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合
があります。

1. 利用していないが、今後利用したい

1. 通当たり（ ）回 もしくは 1か月当たり（ ）回程度

2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい

1. 通当たり 更に（ ）回 もしくは 1か月当たり 更に（ ）回程度

3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問 17 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお
答えください。①～⑦の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつ
けてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

	A		B これまでに利用 したことがある	C 今後利用したい	
	知っている	1. はい 2. いいえ		1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
①母親（父親）学級、両親学級、育児学級	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
②保健相談所の情報・相談事業	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
③家庭教育に関する学級・講座	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
④保育所や幼稚園の園庭等の開放	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑤子ども家庭支援センター	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑥練馬区発行の子育て支援情報誌（ねりま エンゼル・ナビ等）	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ
⑦こんにちは赤ちゃん訪問事業	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ	1. はい 2. いいえ

あて名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問 18 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例) 9時 00分～18時 00分のように 24 時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※教育・保育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

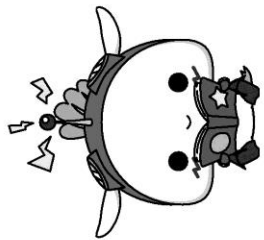
1. 利用する必要はない	}	利用したい時間帯
2. ほぼ毎週利用したい		() 時 () 分から () 時 () 分まで
3. 月に1～2回は利用したい		() 時 () 分から () 時 () 分まで

(2) 日曜日・祝日

1. 利用する必要はない	}	利用したい時間帯
2. ほぼ毎週利用したい		() 時 () 分から () 時 () 分まで
3. 月に1～2回は利用したい		() 時 () 分から () 時 () 分まで

問 19 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。あて名のお子さんについて、専休等長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例) 9時 00分～18時 00分のように 24 時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない	}	利用したい時間帯
2. ほぼ毎週利用したい		() 時 () 分から () 時 () 分まで
3. 月に1～2回は利用したい		() 時 () 分から () 時 () 分まで



※このイラストは「こども未来」のロゴです。

あて名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。
(平日の教育・保育を利用する方のみ)

問 20 平日の定期的な教育・保育の事業を利用しているお父さん・お母さんの方(問 13で「1. 利用している」に○をつけた方)にうかがいます。利用している方はいらっしゃらない方は、問 21にお進みください。この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありませんか。

1. あった → 【問 20-1へ】 2. なかった → 【問 21へ】

問 20-1 あて名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間にいったん対応方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も()内に数字でご記入ください(半日程度の場合も1日とカウントしてください)。

1年間の対応方法	日数
1. 父親が休んだ	() 日程度
2. 母親が休んだ	() 日程度
3. (同居者を含む) 親族・知人に子どもを看てもらった	() 日程度
4. 父親または母親のうち就労していない方が子どもを看た	() 日程度
5. 病児・病後児の保育を利用した	() 日程度
6. ベビーシッターを利用した	() 日程度
7. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	() 日程度
8. その他()	() 日程度

【問 20-5へ】

問 20-2 問 20-1で「1.」「2.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても()内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかります。利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい → () 日 → 【問 20-3へ】
2. 利用したいとは思わない → 【問 20-4へ】

問 20-3 問 20-2で「1.」できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 他の施設(例：幼稚園・保育所等)に併設した施設で子どもを保育する事業	) -----▶ 【問 21へ】
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業	
3. 病児・病後児保育の専用施設で子どもを保育する事業	
4. 地域住民等が子育て支援等の身近な場所で保育する事業	
5. その他()	

問 20-4 問 20-2 で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安	2. 地域の事業の質に不安がある
3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・回数など）がよい	4. 利用料がわかる・高い
5. 利用料がわからない	6. 親が仕事を休んで対応する
7. 利用方法（手続き等）がわからない	8. その他（ ）

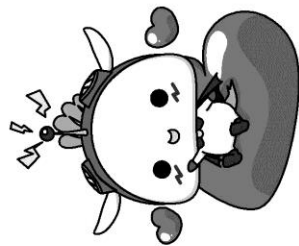
問 20-5 問 20-1 で「3.」から「8.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、「3.」から「8.」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についても数字でご記入ください。

1. できれば仕事を休んで看たい ⇒ () 日	2. 自営業なので休めない
3. 休んで看ることは難しい	4. その他 ()

問 20-6 問 20-5 で「2. 休んで看ることは難しい」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない	2. 自営業なので休めない
3. 休暇日数が足りない	4. その他 ()



印刷用紙（A4）

あて名のお子さんの不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について
うかがいます。

問 21 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や通園のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不特定に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1 年間の利用日数（おおよそ）も（ ）内に数字でご記入ください。

利用している事業	日数
1. 保育施設での一時預かり (私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業)	() 日程度
2. 乳幼児一時預かり (私用など理由を問わずに子育てのひろば「ひよびよ」で一時的に子どもを保育する事業)	() 日程度
3. 民設子育てのひろばでの一時預かり (私用など理由を問わずに民間団体が運営している子育てのひろばで一時的に子どもを保育する事業)	() 日程度
4. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不特定に利用する場合のみ)	() 日程度
5. ファミリーサポートセンター (地域住民が子どもを預かる事業)	() 日程度
6. 夜間一時保育：トワイライトステイ (児童福祉施設等で休日・夜間に子どもを保護する事業)	() 日程度
7. ベビーシッター	() 日程度
8. その他 ()	() 日程度
9. 利用していない	() 日程度

問 21-1 問 21 で「9. 利用していない」と回答した方にうかがいます。
現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない	2. 利用したい事業が地域にない
3. 地域の事業の質に不安がある	
4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・回数など）がよい	
5. 利用料がかかる・高い	6. 利用料がわからない
7. 自分が事業の対象者になるのかわからない	
8. 利用方法（手続き等）がわからない	9. その他 ()

問 22 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で、年間何日くらい一時預かり等の事業を利用したいと思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください(利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を () 内に数字でご記入ください)。

利用したい	計 () 日
1. 私用(買物、習い事等)、リフレッシュ目的	() 日
2. 冠婚葬祭、学校行事	() 日
3. 親の通院	() 日
4. 祖父母の介護	() 日
5. 不特定の就労	() 日
6. その他 ()	() 日
2. 利用する必要はない	() 日

問 22-1 問 22 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
問 22 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われるですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等）

2. 小規模施設で子どもを保育する事業（例：子育てのひろば等）

3. 地域住民等が子育て支援等の近くの場所で開催する事業（例：ファミリーサポートセンター等）

4. その他（ ）

問 22-2 問 22 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
利用したい曜日はいつですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 月曜日

2. 火曜日

3. 水曜日

4. 木曜日

5. 金曜日

6. 土曜日

7. 日曜日

問 22-3 問 22 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
利用したい時間帯を、(例) 9 時 00 分～18 時 00 分のように 24 時間制でご記入ください。

() 時 () 分 から () 時 () 分まで

問 23 この 1 年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありませんが（預け先が見つからなかった場合も含みます。）。あった場合は、この 1 年間の対応方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（ ）内に数字でご記入ください。

	1 年間の対応方法	日数
1. あった	1 (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった -----▶【問 23-1 へ】	() 泊
	2 ショートステイを利用した (児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)	() 泊
	3 2 以外の保育事業 (認可外保育施設、ベビーシッター等) を利用した	() 泊
	4 仕方なく子どもを同行させた	() 泊
	5 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	() 泊
	6 その他 ()	() 泊
2. なかった		

問 23-1 問 23 で「1. あった」「1 (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。
その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 非常に困難

2. どちらかというと困難

3. 特に困難ではない

あて名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

問 24 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3 年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「学童クラブ」の場合には、利用を希望する時間（ ）内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）19 時のように 24 時間制でご記入ください。

「児童館」：地域の子どものための遊びや活動の場として、区内に 17 児童館と厚生文化会館児童館があります。
「居場所づくり事業」：練馬区では「児童放課後等居場所づくり事業（ひろば事業）」として、すべての区立小学校（65 校）で実施しています。すべての小学生を対象に小学校内のひろば室・校庭や図書室等を活用して放課後の安全・安心な子どもの居場所を提供するものです。現在は学校登校日のみ実施しています（土曜日、夏休み等には実施していません。）。また、年間 800 円の保険料がかかります。
「学童クラブ」：保護者が共働きなどのため放課後の保育に欠けるお子さんをお預かりする施設で、指導員の指導のもとに遊びや生活を通じて協力しあい、楽しくいまいると放課後を過ごすところです。区内には、児童館内、小学校内などに学童クラブが 92 か所あります。原則として月額 5,500 円の保育料がかかります。

1. 自宅	週 () 日くらいい
2. 祖父祖母や友人・知人宅	週 () 日くらいい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 () 日くらいい
4. 児童館 ※	週 () 日くらいい
5. 居場所づくり事業（ひろば事業）	週 () 日くらいい
6. 学童クラブ	週 () 日くらいい 下校時から () 時まで
7. ファミリーサポートセンター	週 () 日くらいい
8. その他（地区区民館、生涯学習センター、公園など）	週 () 日くらいい

※ 児童館内の学童クラブを希望する場合は「6.」に回答

問 25 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6 年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「学童クラブ」の場合には利用を希望する時間（ ）内に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）19 時のように 24 時間制でご記入ください。

※ だいたい先のようになりますが、現在お持ちのイメージで答えください。

1. 自宅	週 () 日くらいい
2. 祖父祖母や友人・知人宅	週 () 日くらいい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 () 日くらいい
4. 児童館 ※	週 () 日くらいい
5. 居場所づくり事業（ひろば事業）	週 () 日くらいい
6. 学童クラブ	週 () 日くらいい 下校時から () 時まで
7. ファミリーサポートセンター	週 () 日くらいい
8. その他（地区区民館、生涯学習センター、公園など）	週 () 日くらいい

※ 児童館内の学童クラブの利用を希望する場合は「6.」に回答

すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます。

問 28 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけ、該当する () 内に数字をご記入ください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

母親 (いずれかに○)	父親 (いずれかに○)
1. 働いていなかった 2. 育児休業を取得した (取得中である) →取得期間 () 年 () か月 3. 育児休業を取得していない ⇒取得していない理由 (下から番号を選んでご記入ください) (いくつでも)	1. 働いていなかった 2. 育児休業を取得した (取得中である) →取得期間 () 年 () か月 3. 育児休業を取得していない ⇒取得していない理由 (下から番号を選んでご記入ください) (いくつでも)

- | | |
|--|---|
| 1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
7. 保育所 (園) などに預けることができた
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえするなど、制度を利用する必要がなかった
10. 子育てや家事に専念するため退職した
11. 職場に育児休業の制度がなかった (就業規則に定めなかった)
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 育児休業を取得できることを知らなかった
14. 産前産後の休職を取得できることを知らず、退職した
15. その他 () | 2. 仕事に忙しかった
4. 仕事に戻るのが難しそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
8. 配偶者が育児休業制度を利用した |
|--|---|

問 28-1 すべての方がお答えください。子どもが原則 1 歳 (保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は 1 歳 6 か月) になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満 3 歳になるまでの育児休業等 (法定の育児休業および企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置) 期間について健康保険および厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
2. 育児休業給付のみ知っていた
3. 保険料免除のみ知っていた
4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった |
|--|

問 26 問 24 または問 25 で「5. 居場所づくり事業 (ひろば事業)」に○をつけた方にうかがいます。
あて名のお子さんについて、土曜日と夏休み等長期の休暇期間中の居場所づくり事業の利用希望はありますか。(1)、(2) それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 低学年 (1～3年生) の間は利用したい 3. 利用する必要はない	2. 高学年 (4～6年生) になっても利用したい
(2) 夏休み等	
1. 低学年 (1～3年生) の間は利用したい 3. 利用する必要はない	2. 高学年 (4～6年生) になっても利用したい

問 27 問 24 または問 25 で「6. 学童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。
あて名のお子さんについて、土曜日・休日、夏休み等長期の休暇期間中の学童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、問 24 の説明にあるように原則として月額 5,500 円の保育料がかかります。
(1)、(2)、(3) それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、() 内に (例) 8 時～19 時のように 24 時間制でご記入ください。

1. 低学年 (1～3年生) の間は利用したい 2. 4年生まで利用したい 3. 5年生まで利用したい 4. 6年生まで利用したい 5. 利用する必要はない	利用したい時間帯 () 時から () 時まで
(1) 土曜日	
1. 低学年 (1～3年生) の間は利用したい 2. 4年生まで利用したい 3. 5年生まで利用したい 4. 6年生まで利用したい 5. 利用する必要はない	利用したい時間帯 () 時から () 時まで
(2) 日曜日・休日	
1. 低学年 (1～3年生) の間は利用したい 2. 4年生まで利用したい 3. 5年生まで利用したい 4. 6年生まで利用したい 5. 利用する必要はない	利用したい時間帯 () 時から () 時まで
(3) 夏休み等	
1. 低学年 (1～3年生) の間は利用したい 2. 4年生まで利用したい 3. 5年生まで利用したい 4. 6年生まで利用したい 5. 利用する必要はない	利用したい時間帯 () 時から () 時まで
(3) 夏休み等	

問 28-6 問 28-4 で実際の復帰と育児の取得希望が異なると回答した方にうかがいます。

希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。

(1) 「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 母親

1. 希望する保育所に入るため	2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他 ()	

(2) 父親

1. 希望する保育所に入るため	2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他 ()	

(2) 「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 母親

1. 希望する保育所に入れなかったため	2. 自分や子どもなどの体調が悪化しなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため	4. 職員の受け入れ態勢が悪化しなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため	
6. その他 ()	

(2) 父親

1. 希望する保育所に入れなかったため	2. 自分や子どもなどの体調が悪化しなかったため
3. 配偶者や家族の希望があったため	4. 職員の受け入れ態勢が悪化しなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため	
6. その他 ()	

問 28-7 問 28-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。また、お勤め先の短時間勤務制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、それぞれ該当する () 内に数字をご記入ください。

(1) 母親

1. 短時間勤務制度を利用 () 歳 () か月まで
2. 短時間勤務制度を利用した () 歳 () か月まで
3. 短時間勤務制度を利用しなかった
勤め先の取得可能期間 () 歳 () か月
希望 () 歳 () か月

(2) 父親

1. 短時間勤務制度を利用 () 歳 () か月まで
2. 短時間勤務制度を利用した () 歳 () か月まで
3. 短時間勤務制度を利用しなかった
勤め先の取得可能期間 () 歳 () か月
希望 () 歳 () か月

問 28-2 問 28 で「2. 育児休業を取得した (取得中である)」と回答した方にうかがいます。

育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1) 母親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した	2. 現在も育児休業中である→【問 28-9 (1)へ】
3. 育児休業中に離職した	

(2) 父親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した	2. 現在も育児休業中である→【問 28-9 (2)へ】
3. 育児休業中に離職した	

問 28-3 問 28-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。

※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

(1) 母親

1. 年度初め入所に合わせたタイミングだった
2. それ以外だった

(2) 父親

1. 年度初め入所に合わせたタイミングだった
2. それ以外だった

問 28-4 問 28-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。それぞれ () 内に数字をご記入ください。

(1) 母親

勤め先の取得可能期間 () 歳 () か月
実際の取得期間 () 歳 () か月
希望 () 歳 () か月

(2) 父親

勤め先の取得可能期間 () 歳 () か月
実際の取得期間 () 歳 () か月
希望 () 歳 () か月

問 28-5 問 28-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。 () 内で数字をご記入ください。

(1) 母親

() 歳 () か月

(2) 父親

() 歳 () か月

問 28-8 問 28-7 で「3. 短時間勤務制度を利用しなかった」と回答した方にうかがいます。
短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。当てはまる理由をすべてに○をつけてください。

(1) 母親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった

2. 仕事が忙しかった

3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる

4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる

5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した

6. 配偶者が無職、祖父祖母の親族にみてもらえらるなど、制度を利用する必要がなかった

7. 子育てや家事に専念するため退職した

8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めなかった）

9. 短時間勤務制度を利用できていることを知らなかった

10. その他（ ）

(2) 父親

1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった

2. 仕事が忙しかった

3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる

4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる

5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した

6. 配偶者が無職、祖父祖母の親族にみてもらえらるなど、制度を利用する必要がなかった

7. 子育てや家事に専念するため退職した

8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めなかった）

9. 短時間勤務制度を利用できていることを知らなかった

10. その他（ ）

問 28-9 問 28-2 で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。
あて名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取
得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つ
に○をつけてください。

(1) 母親

1. 1歳になるまで育児休業を取得したい

2. 1歳になる前に復帰したい

(2) 父親

1. 1歳になるまで育児休業を取得したい

2. 1歳になる前に復帰したい

子育て全般についてうかがいます。

問 29 あなたは、子育てを楽しんでいることが多いと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 楽しいと感じることが多い ---▶ 【問 29-1へ】

2. 楽しいと感じることがとつらいと感じることが同じくらい } 【問 29-2へ】

3. つらいと感じることが多い

4. その他（ ）

5. わからない

問 29-1 問 29 で「1. 楽しいと感じることが多い」と回答した方にうかがいます。
子育てをすることでどのような支援・対策が有効と感じていますか。当てはまる番号すべてに○をつけ
てください。

1. 地域における子育て支援の充実

2. 保育サービスの充実

3. 子育て支援のネットワークづくり

4. 地域における子どもの活動拠点の充実

5. 妊娠・出産に対する支援

6. 母親・乳児の健康に対する安心

7. 子どもの教育環境

8. 子育てしやすい住居・まちの環境面での充実

9. 仕事と家庭生活の両立

10. 子どもを対象にした犯罪・事故の軽減

11. 養育支援の充実

12. その他（ ）

問 29-2 問 29 で「2」「3」と回答した方にうかがいます。
つらさを解消するために必要と思うことは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 地域における子育て支援の充実

2. 保育サービスの充実

3. 子育て支援のネットワークづくり

4. 地域における子どもの活動拠点の充実

5. 妊娠・出産に対する支援

6. 母親・乳児の健康に対する安心

7. 子どもの教育環境

8. 子育てしやすい住居・まちの環境面での充実

9. 仕事と家庭生活の両立

10. 子どもを対象にした犯罪・事故の軽減

11. 養育支援の充実

12. その他（ ）

問 30 練馬区における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号1つに○をつけてください。

満足度が低い ← 1 2 3 4 5 → 満足度が高い

問 31 最後に、教育・保育環境や子育て支援施策の充実など、子育ての環境や支援に関してご意見がございま
したら、ご自由にご記入ください

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。
返信用封筒に入れてご返送ください。切手を貼る必要はありません。

2 小学校児童家庭の調査票

「練馬区 子ども・子育て支援事業計画」を作成するための
ニーズ調査にご協力ください
(小学校児童家庭用)

平成 24 年 8 月に子ども・子育て支援法が成立し、早ければ平成 27 年度から新しい子ども・子育て支援制度が始まる予定です。新制度では、子育て中の区民の皆さまにアンケートを行い、その結果に基づいて、「地域の子育て支援をどのように実施するか」「今後どれくらい子育てのひろばや学童クラブ等の施設を増やすか」などのサービスの内容や量を計画にまとめ、区として実施していくことになります。

子育て中のお忙しい皆さまに、設問が多いアンケートをお願いして大変恐縮ですが、練馬区を安心して子どもを産み、楽しく子育てのできるまちとしていくために必要な調査となりますので、ぜひご協力をお願いいたします。

この調査をお願いする方は、区内に在住する小学生児童のいる保護者の方です。区内小学校から 11 校を選び、各学年 1 クラスずつ 6 クラスの児童の保護者の方に、今回アンケートのご協力をお願いすることとなりました。

お答えいただいた内容については、すべて統計的に処理し、個々の回答やプライバシーに関わる内容が公表されたり、他の目的に利用されることは一切ありません。

ご協力のほどよろしくお願いいたします。

平成 25 年 10 月

練馬区

【ご記入にあたってのお願い】

- この調査票では、児童の保護者の方を「あなた」とします。ご本人がお答えください。
- 回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。その他回答については、() 内に内容を具体的に記入してください。
- 時刻の欄は、24 時間制 (例：「午後 4 時」は「16 時」) でご記入ください。
- 特にことわりのない限り、すべての質問にお答えください。該当者だけにお答えいただく質問もありますが、その場合は、質問の説明に従ってお答えください。
- この調査は無記名であり、皆様の回答はすべて統計的に処理し、本調査の目的以外には決して使用いたしませんので、思いのままをお答えいただけますようお願い申し上げます。
- 記入した調査票は、指定された期日までに、調査票が入っていた封筒に入れ、封をしたうえで、学校経由で提出してください。
- アンケートに関してご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

練馬区 子ども家庭部 子ども支援課 子ども支援計画担当係
電話：03-5984-1306
FAX：03-5984-1220

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 あなたがお住まいの町名をお書きください。

練馬区 (市)

お子さんとご家族の状況についてうかがいます。

問2 お子さんの生年月を下記記入ください（ ）内に数字でご記入ください。

平成()年()月生まれ

問3 お子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。お子さんを含めた人数を（ ）内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。

きょうだい数()人 末子の生年月 平成()年()月生まれ

問 4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

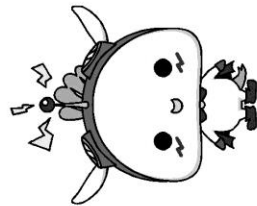
1. 母親	2. 父親	3. その他（
-------	-------	---------

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当ではまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる 2. 配偶者はいない

問 6 お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母 5. その他()



子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問7 日頃、お子さんをみてもらえらる親族・知人はいいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に祖父祖母等の親族にのみとらえる
2. 緊急時もしくは用事の類には祖父祖母等の親族にのみとらえる
3. 日常的に子どもをのみとらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の類には子どもをのみとらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

問8 お子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいいますか。また、相談できる場所はありませんか。当ではまる番号1つに○をつけてください。

1. いる/ある ---▶【問8-1へ】
2. いない/ない ---▶【問9へ】

問8-1 問8で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 配偶者・パートナー
3. 隣近所の人、地域の知人、友人
5. 保育園、幼稚園、学校の保護者の仲間
7. 保育士、幼稚園の先生、学校の先生
9. 保育園、幼稚園、学校の区担当窓口
11. 児童館、学童クラブ、地区児童館
13. 総合福祉事務所の母子自立支援員
15. 総合教育センターの教育相談室
17. 児童相談所（東京都児童相談センター）
19. ベビージッター
21. その他（ ）
2. その他の親族（親、兄弟姉妹など）
4. 職場の人
6. 子育てサークルの仲間
8. かかりつけ医など
10. 子ども家庭支援センター
12. 子育てのひろば「ひまわり」「こここ」など
14. 民生・児童委員、主任児童委員
16. 保健所、保健相談所
18. 民衆の電話相談
20. インターネットの子育てサイト
22. 相談すべきことではない

お子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問9 お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。
 (1) 母親【父子家庭の場合は記入不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 就労しており、産休・育休・介護休業中ではない } 【(1) - 1へ】
 2. 就労しているが、産休・育休・介護休業中である }
 3. 以前は就労していたが、現在は就労していない }
 4. これまで就労したことがない } 【(2) - 2へ】

(1) - 1 (1) で「1.」「2.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（就業時間を含む）」、「就労形態」をお答えください。
 就労日数や就労時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください（日数と時間は、() 内に数字でご記入ください。就労形態は該当するものに○をつけてください。就労形態が「その他」の場合は「その他」に○をつけ、() 内に具体的な就労形態を記入してください。）。

1週当たり () 日 1日当たり () 時間
 就労形態 (正 規 ・ 派遣 ・ パート ・ アルバイト ・ その他 ())

(1) - 2 (1) で「1.」「2.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。
 時間がか一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず (例) 8時 00 分～18 時 30 分のように、24 時間制でお答えください (() 内に数字でご記入ください。) 。

家を出る時刻 () 時 () 分 帰宅時刻 () 時 () 分

(2) 父親【母子家庭の場合は記入不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 就労しており、産休・介護休業中ではない } 【(2) - 1へ】
 2. 就労しているが、育休・介護休業中である }
 3. 以前は就労していたが、現在は就労していない }
 4. これまで就労したことがない } 【問10へ】

(2) - 1 (2) で「1.」「2.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（就業時間を含む）」、「就労形態」をお答えください。
 就労日数や就労時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください（日数と時間は、() 内に数字でご記入ください。就労形態は該当するものに○をつけてください。就労形態が「その他」の場合は「その他」に○をつけ、() 内に具体的な就労形態を記入してください。）。

1週当たり () 日 1日当たり () 時間
 就労形態 (正 規 ・ 派遣 ・ パート ・ アルバイト ・ その他 ())

(2) - 2 (2) で「1.」「2.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。
 産休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず (例) 8 時 00 分～18 時 30 分のように、24 時間制でお答えください (() 内に数字でご記入ください。) 。

家を出る時刻 () 時 () 分 帰宅時刻 () 時 () 分

問10 問9の(1) 母親または(2) 父親で「1.」「2.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。今後、就労状況を変更する希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけ、該当する () 内には数字をご記入ください。

(1) 母親

1. 就労日数・時間を増やす希望があり、実現できる見込みがある
 →増加後の日数等 1週当たり () 日 1日当たり () 時間 実現時期 () か月後
 2. 就労日数・時間を増やす希望はあるが、実現できる見込みはない
 →増加後の日数等 1週当たり () 日 1日当たり () 時間
 3. 今の就労を続けることを希望
 4. 仕事をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. 就労日数・時間を増やす希望があり、実現できる見込みがある
 →増加後の日数等 1週当たり () 日 1日当たり () 時間 実現時期 () か月後
 2. 就労日数・時間を増やす希望はあるが、実現できる見込みはない
 →増加後の日数等 1週当たり () 日 1日当たり () 時間
 3. 今の就労を続けることを希望
 4. 仕事をやめて子育てや家事に専念したい

問11 問9の(1) 母親または(2) 父親で「3. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「4. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問12へお進みください。今後、就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、日数、時間等については該当する () 内に数字をご記入ください。就労形態については該当するものに○をつけてください。就労形態が「その他」の場合は「その他」に○をつけ、() 内に具体的な就労形態を記入してください。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
 2. 1年より先、一番下の子どもが () 歳になったところに就労したい
 3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
 →希望時期 () か月後
 →希望する就労形態 ア. 就労形態 正規 ・ 派遣 ・ パート ・ アルバイト ・ その他 ()
 イ. 就労日数・就労時間 →1週当たり () 日 1日当たり () 時間
 4. 就労の予定が決まっている
 → 開始時期 () 年 () 月から 1週当たり () 日 1日当たり () 時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
 2. 1年より先、一番下の子どもが () 歳になったところに就労したい
 3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
 →希望時期 () か月後
 →希望する就労形態 ア. 就労形態 正規 ・ 派遣 ・ パート ・ アルバイト ・ その他 ()
 イ. 就労日数・就労時間 →1週当たり () 日 1日当たり () 時間
 4. 就労の予定が決まっている
 → 開始時期 () 年 () 月から 1週当たり () 日 1日当たり () 時間

お子さんの病気の療養の対応についてうかがいます。

問 12 この1年間に、お子さんが病氣やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。

1. あった ---▶▶【問 12-1へ】 2. なかった ---▶▶【問 13へ】

問 12-1 この1年間に行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（ ）内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください）。

1年間の対処方法		日数
1. 父親が休んだ	()	日程度
2. 母親が休んだ	()	日程度
3. (同居者を含む)親族・知人に子どもを看てもらった	()	日程度
4. 父親または母親のうち就労していない方が子どもを看た	()	日程度
5. 病児・病後児の療養を利用した	()	日程度
6. ベビーシッターを利用した	()	日程度
7. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	()	日程度
8. その他()	()	日程度

【問 12-5へ】

問 12-2 問 12-1で「1」「2」のいずれかに回答した方にうかがいます。

その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても（ ）内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかります。利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい⇒（ ）日 ---▶▶【問 12-3へ】
2. 利用したいとは思わない ----▶▶【問 12-4へ】

問 12-3 問 12-2で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 他の施設（例：幼稚園・保育園等）に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 病児・病後児保育の専用施設で子どもを保育する事業
4. 地域住民等が子育て支援等の身近な場所で開催する事業
5. その他（ ）

----▶▶【問 13へ】

問 12-4 問 12-2で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安 2. 地域の事業の質に不安がある
3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間日数など）がよい
4. 利用料がかかると高い 5. 利用料がわからない
6. 親が仕事を休んで対応する 7. 利用方法（手続き等）がわからない
8. その他（ ）

----▶▶【問 13へ】

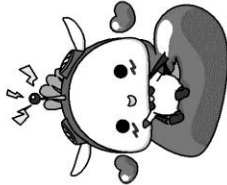
問 12-5 問 12-1で「3」から「8」のいずれかに回答した方にうかがいます。

その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、「3」から「8」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についても（ ）内に数字でご記入ください。

1. できれば仕事を休んで看たい⇒（ ）日 ---▶▶【問 13へ】
2. 休んで看ることは難しい ----▶▶【問 12-6へ】

問 12-6 問 12-5で「2. 休んで看ることは難しい」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない 2. 自営業なので休めない
3. 休暇日数が足りないで休めない 4. その他（ ）



東京都福祉保健局「こども未来センター」のキャラクター

お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について
うかがいます。

問 13 お子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も（ ）内に数字でご記入ください。

利用している事業	日数
1. ファミリーサポートセンター （地域住民が子どもを預かる事業）	（ ）日程度
2. 夜間一時保育、トワイライトステイ （児童養護施設等で休日・夜間に子どもを保護する事業）	（ ）日程度
3. ベビーシッター	（ ）日程度
4. その他（ ）	（ ）日程度

※利用していない

問 13-1 問 13 で「5. 利用していない」と回答した方にうかがいます。
現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない
2. 利用したい事業が地域にない
3. 地域の事業の側に不安がある
4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
5. 利用料がかかる・高い
6. 利用料がわからない
7. 自分が事業の対象者になるのかわからない
8. 利用方法（手続き等）がわからない
9. その他（ ）

問 14 お子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用したいと思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を（ ）内に数字でご記入ください。）。なお、事業を利用する際には、以下の利用料がかかります。

【主な事業】ファミリーサポートセンター：平日1時間 800 円（土・日・祝日1時間 900 円） トワイライトステイ：1回2,000 円

1. 利用したい	計（ ）日
1 私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的	（ ）日
2 冠婚葬祭、学校行事	（ ）日
3 親の通院	（ ）日
4 祖父母の介護	（ ）日
5 不定期の就労	（ ）日
6 その他（ ）	（ ）日
2. 利用する必要はない	---▶ 【問 15 へ】

問 14-1 問 14 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
問 14 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 施設で子どもを保育する事業（例：児童養護施設等）
2. 地域住民等が子育て支援等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリーサポートセンター等）
3. その他（ ）

問14-2 問14で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。 利用したい曜日はいつですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。			
1. 月曜日	2. 火曜日	3. 水曜日	4. 木曜日
5. 金曜日	6. 土曜日	7. 日曜日	

問 14-3 問 14 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
利用したい時間帯を、（例）9時から18時のように24時間制でご記入ください。

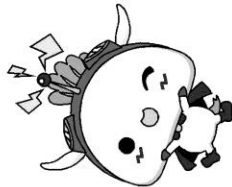
（ ）時から（ ）時まで

問 15 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありませんか（預け先が見つからなかった場合も含みます。）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（ ）内に数字でご記入ください。

	1年間の対処方法	日数
1. あった	1（同居者を含む）親族・知人にみてもらった	【問 15-1 へ】 （ ）泊
	2 ショートステイを利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	（ ）泊
	3 2以外の保育事業（認可が保育施設、ベビーシッター等）を利用した	（ ）泊
	4 仕方なく子どもを同行させた	（ ）泊
	5 仕方なく子どもだけで留守番させた	（ ）泊
	6 その他（ ）	（ ）泊
2. なかった		

問 15-1 問 15 で「1. あった」「1（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。
その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 非常に困難
2. どちらかというと困難
3. 特に困難ではない



東京都福祉保健局「こども未来」部

お子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます。

問16 お子さんが低学年（1～3年生）の保護者の方にお答えください。
 お子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「学童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）19時のように24時間制でご記入ください。

「児童館」：地域の子どものための遊びや活動の場として、区内に17児童館と厚生文化会館児童室があります。
 「居場所づくり事業」：練馬区では「児童放課後等居場所づくり事業（ひろば事業）」として、すべての区立小学校（6校）で実施しています。すべての小学生を対象に小学校内のひろば室・校庭や図書室等を活用して放課後の安全・安心な子どもの居場所を提供するものです。現在は学校発校日のみ実施しています（土曜日、夏休み等には実施していません）。また、年間800円の保険料がかかります。
 「学童クラブ」：保護者が共働きなどのため放課後の保育に欠けるお子さんをお預かりする施設で、指導員の指導のもとに遊びや生活を通じて協力しあい、楽しくいきいきと放課後を過ごすところです。区内には、児童館内、小学校内などに学童クラブが92か所あります。原則として月額5,500円の保育料がかかります。

1. 自宅	週（ ）日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週（ ）日くらい
3. 習い事（ピアノ・教室、サッカークラブ、学習塾など）	週（ ）日くらい
4. 児童館 ※	週（ ）日くらい
5. 居場所づくり事業（ひろば事業）	週（ ）日くらい
6. 学童クラブ	週（ ）日くらい → 下校時から（ ）時まで
7. ファミリーサポートセンター	週（ ）日くらい
8. その他（地区区民館、生涯学習センター、公園など）	週（ ）日くらい

※ 児童館内の学童クラブを利用している場合は「6.」に回答

問17 すべての方にお答えください。
 お子さんについて、小学校高学年（4～6年生）のときは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「学童クラブ」の場合には利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）19時のように24時間制でご記入ください。施設等の説明は問16をご覧ください。

※ お子さんが低学年（1～3年生）の場合は、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週（ ）日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週（ ）日くらい
3. 習い事（ピアノ・教室、サッカークラブ、学習塾など）	週（ ）日くらい
4. 児童館 ※	週（ ）日くらい
5. 居場所づくり事業（ひろば事業）	週（ ）日くらい
6. 学童クラブ	週（ ）日くらい → 下校時から（ ）時まで
7. ファミリーサポートセンター	週（ ）日くらい
8. その他（地区区民館、生涯学習センター、公園など）	週（ ）日くらい

※ 児童館内の学童クラブの利用をしている場合・希望する場合は「6.」に回答

問18 問16または問17で「5. 居場所づくり事業（ひろば事業）」に○をつけた方にうかがいます。
 お子さんについて、土曜日と夏休み等長期の休暇期間中の居場所づくり事業の利用希望はありますか。
 (1)、(2) それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 土曜日	1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい 3. 利用する必要はない
(2) 夏休み等	1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい 3. 利用する必要はない

問19 問16または問17で「6. 学童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。
 お子さんについて、土曜日、日曜日、祝日、夏休み等長期の休暇期間中の学童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、問16の説明にあるように原則として月額5,500円の保育料がかかります。(1)、(2)、(3) それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、（ ）内に（例）8時～19時のように24時間制でご記入ください。

(1) 土曜日	1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2. 4年生まで利用したい 3. 5年生まで利用したい 4. 6年生まで利用したい 5. 利用する必要はない	利用したい時間帯 () 時から () 時まで
(2) 日曜日・祝日	1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2. 4年生まで利用したい 3. 5年生まで利用したい 4. 6年生まで利用したい 5. 利用する必要はない	
(3) 夏休み等	1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2. 4年生まで利用したい 3. 5年生まで利用したい 4. 6年生まで利用したい 5. 利用する必要はない	利用したい時間帯 () 時から () 時まで

問20 すべての方にお答えください。
 児童館に対して、あなたはどのように感じていますか。当てはまる番号に○をつけてください。
 (○は3つまで)

1. 利用日を拡大してほしい（具体的に： 2. 利用時間を早通してほしい（具体的に： 3. 乳幼児親子のつどいの場の拡大や、子育てサークルの支援を充実してほしい 4. 中学生を対象とした取り組みを充実してほしい 5. 施設内の事業だけでなく、学校や地域等との地域活動を強化してほしい 6. 現在のままでよい 7. 児童館のことは知らない 8. その他（

お子さんの安全、防犯対策についてうかがいます。

問 21 あなたは、通学路の安全について気にすることがありますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 交通事故	2. 不審者
3. 犯罪に巻き込まれること	4. その他 ()
5. 特に気になることはない	

問 22 あなたは、緊急避難場所に関して、今後何が必要だとお考えですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 設置目的、利用方法の周知	2. 設置場所を確保やす
3. フレートやステッカーの見やすい掲示	4. その他 ()

※緊急避難場所：区の各地域には子どもが犯罪に巻き込まれそうになったときのかげこみ場所として、「ひまわり 110 番」、「こども 110 番」などの名称で約 5,300 か所の緊急避難場所が設置されています。区では表示図解を統一した「ひまわり 110 番」のフレートやステッカーを配布しています。

問 23 あなたは、携帯電話やインターネット利用に関して、有害情報から子どもを守る取り組みとして何が必要だとお考えですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 携帯電話、インターネットの正しい利用方法の周知	3. 情報モラル教育講座など啓発講習会の開催
2. フィルタリング附加の徹底	4. 携帯電話、インターネットによる被害についての身近な相談機関
5. その他 ()	6. 特に何も必要ない

問 24 あなたは、子どもの防犯に関して、今後何が必要だとお考えですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子ども防犯ハンドブックのようなものの配布を確保やす
2. 上記以外の防犯教育の充実
3. 防犯のためのグッズや対応の仕方の周知
4. 防犯パトロールの強化
5. その他 ()



青森県立保健大学 児童福祉学部 児童福祉学系 児童福祉学専攻

子育て全般についてうかがいます。

問 25 あなたは、子育てを楽しんでいると感じることが多いと思いますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. 楽しいと感じることが多い	2. 楽しいと感じることが多い
3. つらいと感じることが多い	4. その他 ()
5. わからない	

問 25-1 問 25 で「1. 楽しいと感じることが多い」と回答した方にうかがいます。
子育てをする中でどのような支援・対策が有効と感じていますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 地域における子育て支援の充実	2. 保育サービスの充実
3. 子育て支援のネットワークづくり	4. 地域における子どもの活動拠点の充実
5. 妊娠・出産に対する支援	6. 母親・乳児の健康に対する安心
7. 子どもの教育環境	8. 子育てしやすい住居・まちの環境面での充実
9. 仕事と家庭生活の両立	10. 子どもを対象にした犯罪・事故の軽減
11. 養育支援の充実	12. その他 ()

問 25-2 問 25 で「2.」「3.」と回答した方にうかがいます。
つらさを解消するために必要と思うことは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 地域における子育て支援の充実	2. 保育サービスの充実
3. 子育て支援のネットワークづくり	4. 地域における子どもの活動拠点の充実
5. 妊娠・出産に対する支援	6. 母親・乳児の健康に対する安心
7. 子どもの教育環境	8. 子育てしやすい住居・まちの環境面での充実
9. 仕事と家庭生活の両立	10. 子どもを対象にした犯罪・事故の軽減
11. 養育支援の充実	12. その他 ()

問 26 緑島区における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

満足度が低い	1	2	3	4	5	満足度が高い
--------	---	---	---	---	---	--------

問 27 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。
封筒に入れ、封をしたうえで、学校経由で提出してください。

3 単身および子どものいない世帯の調査票

練馬区の子ども・子育て支援に関する ニーズ調査にご協力ください (単身および子どものいない世帯用)

平成 24 年 8 月に子ども・子育て支援法が成立し、早ければ平成 27 年度から新しい子ども・子育て支援制度が始まる予定です。新制度では、子育て中の区民の皆さまにアンケートを行い、その結果に基づいて、「地域の子育て支援をどのように実施するか」等を計画にまとめ、子育て支援サービスの充実を図っていくこととなります。この計画の策定に当たっては、子育て中の皆さまのご意見を踏まえることはもちろんですが、計画をより実効性の高いものとするため、幅広い世代の方のご意見を踏まえたくうえで、今後の区の子ども・子育て支援策を検討していくことが重要と考え、このアンケートを実施することとしました。

お忙しい皆さまに、設問が多いアンケートをお願いして大変恐縮ですが、練馬区を安心して子どもを産み、楽しく子育てのできるまちとしていくために必要な調査となりますので、ぜひご協力をお願いいたします。

この調査をお願いする方は、区内に在住する単身またはお子さまのいない世帯の方です。住民基本台帳から 500 世帯（人）を無作為に選ばせていただきました。

お答えいただいた内容については、すべて統計的に処理し、個々の回答やプライバシーに関わる内容が公表されたり、他の目的に利用されることは一切ございません。

この調査の趣旨をご理解いただき、調査票にご記入の上、同封の返送用封筒にて **11 月 5 日（火）**までにご投函ください。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

平成 25 年 10 月

練馬区

【ご記入にあたってのお願い】

- この調査票では、調査対象者を「あなた」とします。ご本人がお答えください。
- 回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。その他回答については、（ ）内に内容を具体的に記入してください。
- 特にことわりのない限り、すべての質問にお答えください。該当者だけにお答えいただく質問もありますが、その場合は、質問の説明に従ってお答えください。
- この調査は無記名であり、皆様の回答はすべて統計的に処理し、本調査の目的以外には決して使用いたしませんので、思いのままをお答えいただけますようお願い申し上げます。
- アンケートに関してご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

練馬区 こども家庭部 子ども支援課 子育て支援計画担当係
電話：03-5984-1306
FAX：03-5984-1220

調査票記入者の状況

F 1 あなたは、次のどれに当てはまりますか。(それぞれ○は1つ)

(1) 性別

1. 男 2. 女

(2) 年齢

1. 20歳未満 2. 20～24歳 3. 25～29歳
4. 30～34歳 5. 35～39歳

(3) 職業

1. 会社員 2. 自営業 3. 公務員・団体職員
4. パート・アルバイト 5. 無職 6. 学生
7. その他()

F 2 あなたのお住まいの町名を書いてください。

〒 区 () (町)

家族および生活について

問 1 同居されている方はどなたですか。あなたを中心に答えください。(○はいくつでも、また、() の中に数字を記入)

1. 同居者はいない(一人暮らし) 2. 配偶者・パートナー(単身赴任などで別居も含む)
3. 自分または配偶者・パートナーの親 4. 自分または配偶者・パートナーの祖母・祖父
5. 自分または配偶者・パートナーの兄弟姉妹 6. その他の親類
7. その他()
家族全員で()人

問 1-1 問 1 で「3. 自分または配偶者・パートナーの親」と答えた方へ、次のようなことについて、家庭内では誰がしていますか。(それぞれ○は1つ)

	1 主に 親	2 主に 自分	3 の 親 分 と 自 分	4 主 に パ ー ト ナ ー	5 そ の 他
1 食事を作る	1	2	3	4	5
2 食事の後片付けをする	1	2	3	4	5
3 トイレを掃除する	1	2	3	4	5
4 お風呂を掃除する	1	2	3	4	5
5 洗濯をする	1	2	3	4	5
6 買物をする	1	2	3	4	5
7 自分の部屋を掃除する	1	2	3	4	5
8 ごみ袋を出しに行く	1	2	3	4	5

問 2 あなたは、親へ生活費(仕送り)を入れていますか。(○は1つ)

1. 毎月入れている 2. ときどき入れている 3. まったく入れていない

問 3 あなたは、親から生活費の援助を受けていますか。(○は1つ)

1. 生活全額について援助を受けている
2. 定期的に仕度費・食費など一部の援助を受けている
3. 不定期に多少の援助を受けている
4. 援助は受けていない

問 4 今のあなたの生活は、経済的に余裕がありますか。(○は1つ)

1. 余裕がある 2. どちらかといえば余裕がある
3. どちらかといえば余裕がない 4. 余裕がない

現在の不安、結婚について

問 5 あなたは、将来への不安にはどんなものがありますか。(○はいくつでも)

1. 自分の健康 2. 生活費のこと 3. 仕事のこと
4. 住居のこと 5. 独身でいること 6. 親の介護のこと
7. 家族のこと 8. 老後のこと 9. 孤独になること
10. 友人との関係 11. 恋人との関係 12. その他()
13. 特になし

問 6 あなたは、結婚していますか。(○は1つ)

1. 結婚している(配偶者がいる) 2. 結婚していないが同居している(パートナーがいる)
3. 結婚も同居もしていない 4. 結婚したが、離別・死別した

問 6-1 問 6 で「3. 結婚も同居もしていない」と答えた方へ、「結婚」については、どのような考えをお持ちですか。(○は1つ)

1. できればすぐにはでも結婚したい 2. いずれは結婚したい
3. 結婚したくないが、人生のパートナーとなる人がほしい
4. 結婚したくない 5. その他()

問 6-2 問 6 で「3. 結婚も同居もしていない」と答えた方へ、理由をお聞かせください。(○は主なもの3つまで)

1. 結婚するにはまだ早い(若い)から 2. 結婚する必要性を感じないから
3. 適当な相手にめぐり会えないから 4. 異性とうまくつきあえないから
5. 今は仕事や学業に取り組みたいから 6. 今は趣味や娯楽を楽しみたいから
7. 独身生活の自由さや安楽さを失いたくないから 9. 結婚生活のための住居のめどが立たないから
10. 親や周囲が結婚に同意しない(だろろ)から
11. 結婚の準備期間中(婚約中)だから
12. その他()

配偶者・パートナーがいらない方、また今後持ちたいとお考えの方におうかがいします。

問7 あなたは、配偶者・パートナーとはどのような役割分担をする方がよいと思いますか。(それぞれ○は1つ)

	1	2	3	4	5
	が女性が行うのみ	も心に性行男が中	程度も同性行男	も心に性行女が中	男性が行うのみ
1 生計を立てるための仕事	1	2	3	4	5
2 家計の管理	1	2	3	4	5
3 家事	1	2	3	4	5
4 育児や子育て	1	2	3	4	5
5 子どもの教育	1	2	3	4	5
6 親の介護	1	2	3	4	5

子育てや結婚について

すべての方におうかがいします。

問8 あなたは、これまでに子どもと関わったことがありますか。(○はいくつでも)

1. 学校や職場で、ボランティアとして子どもの世話をしたことがある
2. 兄弟姉妹や親類の子ども、近所の子どもの世話を日常的にしたことがある
3. 職業上、保育や子どもの教育に関わっている(関わったことがある)
4. 子どもと関わった経験はほとんどない

問9 あなたは、赤ちゃんにミルクを飲ませたり、オムツがえなどをしたりしたことがありますか。(○は1つ)

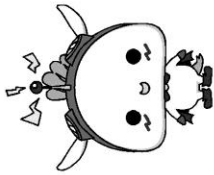
1. したことがある
2. したことがない

問10 あなたは、将来子どもを持ちたいと思いますか(○は1つ)

1. 将来子どもを持ちたい
2. 子どもを持ちたいと思わない

問10-1 問10で「1. 将来子どもを持ちたい」と答えた方へ、理由は何か。(○はいくつでも)

1. 子どもを育てることは楽しいと思えるから
2. 子どもがいると家庭が明るくなるから
3. 子どもが好きだから
4. 子どもがかわいいから
5. 生きがいになると思えるから
6. 家族の結びつきが強くなるから
7. 子どもを通じて交流が広がるから
8. その他()



イラストは「ベビー・ファクター」(BORN) © 2015

問10-2 問10で「2. 子どもを持ちたいと思わない」と答えた方へ、理由は何か。(○はいくつでも)

1. 出産・子育ての知識や自信がないから
2. 子育てはめんどうくさいから
3. 子どもはさらいだから
4. 自分の生活をエンジョイしたいから
5. 仕事を優先したいから
6. 自分が子どもを虐待するのではないかと恐るから
7. 自分か子どもを虐待するのではないかと恐るから
8. 配偶者(パートナーなど)が子育てを望まないから
9. 子育ての責任が女性にかたよっているから
10. 地域の中に保育園など子どもを預けられるところが整っていない(足りていない)から
11. 地域の中に子どもが安心して遊べるところが整っていない(足りていない)から
12. 地域の中で育児や子育てについて相談しやすい体制が整っていないから
13. 勤め先の育児休業制度や子育てを支援する制度が整っていないから
14. 受験競争や企業社会など、今の世の中は子どもにとってふさわしい時代とは思えないから
15. いじめや差別・不登校など、子どもを取りまく問題があるから
16. 子育ての経済的負担に耐えられないと思えるから
17. 地球環境の悪化や職任の柱環境が子育てにふさわしくないから
18. その他()



イラストは「ベビー・ファクター」(BORN) © 2015

問 11 あなたは、結婚や子育てに関する次のような考え方についてどう思いますか。(それぞれ○は1つ)

	1 そう 思う	2 そう 思う くらい いい え	3 そう 思う くらい いい え	4 そう 思 わ な い
1 結婚は個人の自由だから、してもなくてもよい	1	2	3	4
2 結婚しても、うまくいかなければ離婚することはしがない	1	2	3	4
3 結婚しても、別々の名字のままにすることもかわらない	1	2	3	4
4 結婚しても、必ずしも子どもを産む必要はない	1	2	3	4
5 結婚はしたくないが、子どもは欲しい	1	2	3	4
6 結婚したら、子どもを産むべきだ	1	2	3	4
7 子どもの人数や何歳ごろに産むかを決めるとき、女性（妻）の意見を尊重した方がよい	1	2	3	4
8 子どもの世話は、父親も母親も同じにするのがよい	1	2	3	4
9 子どもが3歳になるまでは、母親が家庭で育てる方がよい	1	2	3	4
10 子どものことも大事だが、自分自身の生活も大事にしたい	1	2	3	4
11 自分のことを多少犠牲にしても、子どものことを優先すべきだ	1	2	3	4
12 女性も子どもを産んでも、仕事をやめるべきでない	1	2	3	4
13 エイズや性感染症（のん県、梅毒、クラミジア等、性行為を通じて感染する病気）に対して、正確な知識を持つことは大切なことだ	1	2	3	4

労働・社会保険等による支援の周知状況

問 12 あなたは、妊産婦や子育て中の労働者に対して、労働・社会保険等による次のような支援があることを知っていますか。(○はいくつでも)

1. 妊婦の産前通常6週間の休業請求（女性のみ）	2. 産婦の産後通常8週間の就業禁止（女性のみ）
3. 妊婦の産前外・休日労働の除外請求（女性のみ）	4. 妊産婦の産後休業の除外請求（女性のみ）
5. 妊婦の軽易な業務への転送請求（女性のみ）	6. 育児休業の取得
7. 勤務時間の短縮	8. 子の看護のための休暇
9. 育児休業給付の支給	10. 出産手当金の支給（女性のみ）
11. 出産育児一時金の支給（女性のみ）	12. 家族（配偶者）出産育児一時金の支給

地域交流について

問 13 あなたは家族や地域社会など、自分の周りに子どもがいることをどう思いますか。(○は主なもの3つまで)

1. 地域や家庭が明るくなる	2. 地域や家庭の結びつきが強まる
3. 若後を安心して過ごせる	4. 子どもから教えられることがある
5. まわりにいると楽しい	6. 子どもを通じて交流が広がる
7. うるさいと思う	8. まわりにいるとわずらわしい
9. 負担に感じる	10. 子どもの様子を見ていると気になる
11. その他（	12. 特に何も感じない

問 14 あなたの近所とおつきあいはどうですか。(○は主なもの1つ)

1. あいざつをする程度	2. とときき酒で話をする
3. 相手の家に行つて話をする	4. 食事と一緒にいたり、家族ぐるみでつきあっている
5. 困っているときに、相談したり助けあったりしている	
6. ほとんどつきあいはない	

問 15 あなたは、よその子どものいたずらやいじめなどに対して、注意をしますか。(○は1つ)

1. よく注意する	2. とときき注意する
3. めったに注意しない	4. まったく注意しない

問 16 あなたは、この1年間で次のような地域活動をしたことがありますか。(○はいくつでも)

1. 近所の祭などに参加する	2. 町内会などの活動
3. 地域での子どもたちの指導や世話	4. 近所の子ども遊び相手
5. 地域の清掃や防災などの活動	6. 体の不自由な人やお年寄りの手助け
7. 献血や募金の協力	8. その他（
9. どれもしたことはない	

問 17 あなたは、ボランティア活動をしたことがありますか。(○は1つ)

1. 定期的にボランティアをしている	2. ボランティアを以前していた
3. 一回かしたことがある	4. したことはない

問 18 あなたが参加したいと思うボランティア活動は何ですか。(○はいくつでも)

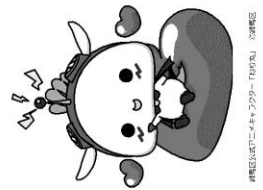
1. 環境を守る活動（清掃美化活動、リサイクル活動など）	
2. 身近な縁を守る活動（花壇づくりなど）	
3. 子育てに関する活動（保育園での乳幼児の世話、児童館での児童や幼児の世話、学校や地域の活動など）	
4. 高齢者・障害者福祉に関する活動（おとしよりや障害者への介護、給食など）	
5. スポーツ・文化に関する活動（小学生にスポーツを教えるなど）	
6. 学習活動に関する指導、助言、運営協力などの活動（料理、英語、書道など）	
7. 国際交流、国際協力に関する活動（通訳、外国人を助けるなど）	
8. 地域のイベントやお祭りの手伝い	
9. その他（	
10. 特にない	

少子社会に対する考え方について

問 19 あなたは、少子社会（＝出生率が低下し、子どもの数が減ることにより、将来的には人口規模の縮小が考えられる社会）が、個人の生活にどのような影響を与えていると思いますか。（○は主なもの3つまで）

1. 一人ひとりに合った、ゆとりある教育ができる
2. 進学や就職において競争が少なくなる
3. 住宅事情が改善されて、買いやすくなる
4. まわりに子どもが減り、子どもの社会性が育ちにくくなる
5. 一人ひとりの子どもへの期待が大きくなる
6. 親など周囲の干渉が強まる
7. 親の老後への子どもへの負担が大きくなる
8. その他（ ）
9. わからない

- 問 20 あなたは、少子社会が国や地域社会にどのような影響を与えていると思いますか。（○は主なもの3つまで）
1. 人口規模が縮小することにより、環境問題の改善がみられるようになる
2. 就労人口が減少して、就職や再就職などがしやすくなる
3. 女性の社会進出が強まり、男女が協力し合って生活や社会を築いていく風潮が高まる
4. 若い労働力が不足することにより、経済の活性化や成長が鈍りやすくなる
5. 現役世代の負担や社会保障負担（年金や医療費など）が大きくなる
6. 地域に住む若い世代が減少し、地域の活気がなくなる
7. 地域で子育てをすすめる住民が孤立化し、育児不安が広がる
8. その他（ ）
9. わからない



静岡県立沼津高等学校「たのしみ」のキャラクター「たのしみ」のイラスト

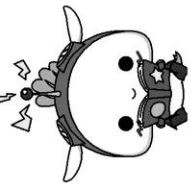
行政サービスへの要望について

問 21 あなたは、子育てしやすい環境を整備するために、区はどうしていいのがあると思いますか。（○は5つまで）

1. 予防接種や乳幼児健診などの母子保健の充実
2. 保育サービスや施設の整備
3. 妊娠や出産の不安や悩みへの相談窓口の整備
4. 子育てについて学ぶ機会を増やす
5. 男女がともに子育てに力がかかるための意識啓発
6. 子どもの出生・育児にかかる医療費の負担軽減
7. 保育園・幼稚園の費用や教育費の負担の軽減
8. 子育て家庭への手当の支給や税制優遇措置
9. 子育ての不安や悩みの相談窓口の整備
10. 育児休業や育児休業などの企業内制度の整備
11. 女性が働きやすい環境の整備（職場の意識改革や産後など）
12. 道路や公園などの子どもが安心して暮らせる環境の整備
13. 子育て家庭の住居の確保や家賃の補助
14. 子どもの創造性や感性を伸ばす教育機会の普及
15. いじめや差別などをなくす教育の推進
16. 犯罪のない社会づくり
17. 地球温暖化やダイオキシンなどの環境問題に対する対策
18. 水や緑などの自然環境の推進
19. 食品の安全性の確保
20. その他（ ）
21. わからない
22. 特になし

問 22 最後に、子育ての環境や支援策等に関して、ご意見・ご要望等をご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。
返信用封筒に入れてご返送ください。切手を貼る必要はありません。



静岡県立沼津高等学校「たのしみ」のキャラクター「たのしみ」のイラスト

4 子育て中および子育て終了世帯の調査票

練馬区の子ども・子育て支援に関する ニーズ調査にご協力ください (子育て中および子育て終了世帯用)

平成 24 年 8 月に子ども・子育て支援法が成立し、早ければ平成 27 年度から新しい子ども・子育て支援制度が始まる予定です。新制度では、子育て中の区民の皆さまにアンケートを行い、その結果に基づいて、「地域の子育て支援をどのように実施するか」等を計画にまとめ、子育て支援サービスの充実を図っていくことになります。この計画の策定に当たっては、子育て中の皆さまのご意見を踏まえることはもちろんですが、計画をより実効性の高いものとするため、幅広い世代の方のご意見も踏まえたくて、今後の区の子ども・子育て支援策を検討していくことが重要と考え、このアンケートを実施することとしました。

お忙しい皆さまに、設問が多いアンケートをお願いして大変恐縮ですが、練馬区を安心して子どもを産み、楽しく子育てのできるまちとしていくために必要な調査となりますので、ぜひご協力をお願いいたします。

この調査をお願いする方は、区内に在住する子育て中または子育てを終了している世帯の方です。住民基本台帳から 500 世帯（人）を無作為に選ばせていただきました。

お答えいただいた内容については、すべて統計的に処理し、個々の回答やプライバシーに関わる内容が公表されたり、他の目的に利用されることは一切ございません。

この調査の趣旨をご理解いただき、調査票にご記入の上、同封の返送用封筒にて 11 月 5 日（火）までにご投函ください。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

平成 25 年 10 月

練馬区

【ご記入にあたってのお願い】

- この調査票では、調査対象者を「あなた」とします。ご本人がお答えください。
- 回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。その他回答については、（ ）内に内容を具体的に記入してください。
- 特にことわりのない限り、すべての質問にお答えください。該当者だけにお答えいただく質問もありますが、その場合は、質問の説明に従ってお答えください。
- この調査は無記名であり、皆様の回答はすべて統計的に処理し、本調査の目的以外には決して使用いたしませんので、思いのままをお答えいただけますようお願い申し上げます。
- アンケートに関してご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

練馬区 こども家庭部 子育て支援課 子育て支援計画担当係
電話：03-5984-1306
FAX：03-5984-1220

調査票記入者の状況

F 1

あなたは、次のどれに当てはまりますか。(それぞれ○は1つ)

(1) 性別

1. 男

2. 女

(2) 年齢

1. 30歳未満

2. 30～39歳

3. 40～49歳

4. 50～59歳

5. 60歳以上

(3) 職業

1. 会社員

2. 自営業

3. 公務員・団体職員

4. パート・アルバイト

5. 無職

6. 学生

7. その他()

F 2

あなたのお住まいの町名を書いてください。

練馬区 () (町)

家族および生活について

問 1

同居されている方はどなたですか。あなたを中心に答えください。(○はいくつでも、また、() の中に数字を記入)

1. 同居者はいない(一人暮らし)

2. 配偶者・パートナー(単身赴任などで別居も含む)

3. 自分または配偶者・パートナーの母・父

4. 小学校在学中の子ども

5. 中学校在学中の子ども

6. 高校在学中の子ども

7. 大学校在学中の子ども

8. 社会人の未婚の子ども

9. 社会人の既婚の子ども

10. 子どもの配偶者・パートナー

11. 孫

12. 孫の配偶者・パートナー

13. 自分または配偶者・パートナーの兄弟姉妹

14. その他()

家族全員で()人

問 1-1

次のようなことについて、家庭内では誰がしていますか。(それぞれ○は1つ)

	1 主に自分	2 主に配偶者・パートナー	3 主に子ども	4 主に子どもとパートナー	5 主に親	6 その他
1. 食事を作る	1	2	3	4	5	6
2. 食事の後片付けをする	1	2	3	4	5	6
3. トイレを掃除する	1	2	3	4	5	6
4. お風呂を掃除する	1	2	3	4	5	6
5. 洗濯をする	1	2	3	4	5	6
6. 買物をする	1	2	3	4	5	6
7. 自分の部屋を掃除する	1	2	3	4	5	6
8. ごみ袋を出しに行く	1	2	3	4	5	6

問 2

あなたは、子どもへ生活費(仕送り)を入れていますか。(○は1つ)

1. 毎月入れている

2. ときどき入れている

3. まったく入れていない

問 3

あなたは、子どもから生活費の援助を受けていますか。(○は1つ)

1. 生活全額について援助を受けている

2. 定期的に住居費・食費など一部の援助を受けている

3. 不定期に多少の援助を受けている

4. 援助は受けていない

問 4

今のあなたの生活は、経済的に余裕がありますか。(○は1つ)

1. 余裕がある

2. どちらかといえば余裕がある

3. どちらかといえば余裕がない

4. 余裕がない

問 5

あなたは、将来への不安にはどんなものがありますか。(○はいくつでも)

1. 自分の健康

2. 生活費のこと

3. 仕事のこと

4. 住居のこと

5. 独身でいること

6. 親の介護のこと

7. 子どもの将来のこと

8. 老後のこと

9. 孤独になること

10. 友人との関係

11. その他()

12. 特になし

練馬区公式ホームページ「れまの」 練馬区

2

1

471

子育てについて

問6 あなたがこれまでの子育てを通じて、特に負担を感じていること、悩んでいることはどのようなことですか。(○はいくつでも)

1. 子育てによる身体への疲れが大きい
2. 子育てで出費がかさむ
3. 自分の自由な時間が持てない
4. 夫婦で楽しい時間が少ない
5. 仕事が十分にできない
6. 子育てが大変なことを身近な人が理解してくれない
7. 子どもの親同士の付き合いが面倒だ
8. 住居が狭い
9. その他 ()
10. 特に負担に思うことはない

問7 あなたが、これまでに、子どものことで心配に感じたり、気になったりしたものはどのようなことですか。(○はいくつでも)

1. 病気や発育・発達に関すること
2. 食事や栄養に関すること
3. 子育ての方法がよくわからないこと
4. 子どもの時間を十分にとれないこと
5. 話し相手や相談相手がいらないこと
6. 友だちつきあい(いじめ等を含む)に関すること
7. 登園拒否、不登校などの問題があること
8. 子育てに関して、配偶者・パートナーの協力が少ないこと
9. 子育てに関して、配偶者・パートナーと意見が合わないこと
10. 自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場など、まわりの見る目が気になること
11. 配偶者・パートナー以外に、子育てを手伝ってくれる人がいないこと
12. 子どもを叱り過ぎているような気がする
13. 子育てのストレスがたまっている、子どもに手をあげたり、世話をしなかりしてしまいうこと
14. 地域の子育て支援サービスの内容・申し込み方法がよくわからないこと
15. 交通事故に遭わないかどうか心配なこと
16. 不備などによる犯罪に巻き込まれないかどうか心配なこと
17. その他 ()
18. 精にない

働きながら子育てをしている方または働きながら子育てをしていた方におうかがいします。

問8 あなたが仕事と子育てを両立させるうえで、大変だと感じることとはどのようなことですか。(○は主なものとついで)

1. 急な残業が入ってしまう
2. 自分が病気・ケガをした時や子どもが急に病気になる時に、代わりに面倒をみる人がいない
3. 家族の理解が得られない
4. 職場の理解が得られず、休みにくい
5. 子どもの他に面倒をみなければならぬ人がいる
6. 子どもの面倒をみてくれる保育園などが見つからない
7. 子どもと接する時間が少ない
8. 勤務時間が長い
9. 休暇が少ない
10. 保育園などの出費が多い
11. その他 ()

子育てに関する情報、相談等について

すべての方におうかがいします。

問9 あなたは子育てに関する情報を、どこから入手されていますか。(○はいくつでも)

1. 親族(親・兄弟姉妹など)
2. 隣近所の人、地域の知人、友人
3. 子育てサークルの仲間
4. 保育園、幼稚園、学校
5. 児童館、学童クラブ、地区区民館、厚生文化会館など
6. 保健所、保健相談所
7. 区の広域やパンフレット
8. テレビ、ラジオ、新聞
9. 本(子育て雑誌・育児書)など
11. 地域情報誌(コミュニティ誌)
10. インターネット
12. その他 ()
13. 情報の入手先がない
14. 情報の入手段がわからない

問10 あなたは身近な地域で、子育てに関する悩みや不安などを相談していたのは誰ですか。(○はいくつでも)

1. 配偶者・パートナー
2. その他の親族(親、兄弟姉妹など)
3. 隣近所の人、地域の知人、友人
4. 職場の人
5. 保育園、幼稚園、学校の保護者の仲間
6. 子育てサークルの仲間
7. 保育士、幼稚園の先生、学校の先生
8. かかりつけ医など
9. 保育園、幼稚園、学校の区担当窓口
10. 子ども家庭支援センター
11. 児童館、学童クラブ、地区区民館
12. 子育てのひろば「ひよびよ」「にこにこ」など
13. 総合福祉事務所の母子自立支援員
14. 民生・児童委員、主任児童委員
15. 総合教育センターの教育相談室
16. 保健所、保健相談所
17. 児童相談所(東京都児童相談センター)
18. 民泊の電話相談
19. ベビーシッター
20. インターネットの子育てサイト
21. その他 ()
22. 相談すべきことはない

結婚や子育てについて

問 11 あなたは、結婚や子育てに関する次のような考え方についてどう思いますか。(それぞれ○は1つ)

	1	2	3	4
1. 結婚は個人の自由だから、してもなくてもよい	そう思う	どちらかといえば	どちらかといえば	そう思わない
2. 結婚しても、うまくいかなければ離婚することはしかたがない	1	2	3	4
3. 結婚しても、別々の名字のまににすることもかわらない	1	2	3	4
4. 結婚しても、必ずしも子どもを産む必要はない	1	2	3	4
5. 結婚はしたくないが、子どもは欲しい	1	2	3	4
6. 結婚したら、子どもを産むべきだ	1	2	3	4
7. 子どもの人数や何歳ごろに産むかを決めるとき、女性（妻）の意見を尊重した方がよい	1	2	3	4
8. 子どもの世話は、父親も母親も同じにするのがよい	1	2	3	4
9. 子どもが3歳になるまでは、母親が家庭で育てる方がよい	1	2	3	4
10. 子どものことも大事だが、自分自身の生活も大事にしたい	1	2	3	4
11. 自分のことを多少犠牲にしても、子どものことを優先すべきだ	1	2	3	4
12. 女性も子どもを産んでも、仕事をやめるべきでない	1	2	3	4
13. エイズや性感染症（ひん菌、梅毒、クラミジア等、性行為を通じて感染する病気）に対して、正確な知識を持つことは大切なことだ	1	2	3	4

労働・社会保障等による支援の周知状況

問 12 あなたは、妊娠婦や子育て中の労働者に対して、労働・社会保障等による次のような支援があることを知っていますか。(○はいくつでも)

1. 妊婦の産前通常6週間の休業請求（女性のみ）
2. 産婦の産後通常8週間の就業禁止（女性のみ）
3. 妊婦の産前外・休日労働の除外請求（女性のみ）
4. 妊娠中の就業の除外請求（女性のみ）
5. 妊婦の軽易な業務への転換請求（女性のみ）
6. 育児休業の取得
7. 勤務時間の短縮
8. 子の看護のための休暇
9. 育児休業給付の支給
10. 出産手当金の支給（女性のみ）
11. 出産育児一時金の支給（女性のみ）
12. 家族（配偶者）出産育児一時金の支給

地域交流について

問 13 あなたは家族や地域社会など、自分の周りに子どもがいることをどう思いますか。(○は主なもの3つまで)

1. 地域や家庭が明るくなる
2. 地域や家庭の結びつきが強まる
3. 若後で安心して過ごせる
4. 子どもから教えられることがある
5. まわりにいると楽しい
6. 子どもを通じて交流が広がる
7. うるさいと思ふ
8. まわりにいるとわずらわしい
9. 負担に感じる
10. 子どもの様子をみていると気になる
11. その他（ ）
12. 特に何も感じない

問 14 あなたは近所とおつきあいはどうですか。(○は主なもの1つ)

1. あいさつをする程度
2. ときどき遠で話をする
3. 相手の家に行ったり話をする
4. 家事と一緒にしたり、家族ぐるみでつきあっている
5. 困っているときに、相談したり助けあったりしている
6. ほとんどつきあいはない

問 15 あなたは、よその子どものいたずらやいじめなどに対して、注意をしますか。(○は1つ)

1. よく注意する
2. ときどき注意する
3. めったに注意しない
4. まったく注意しない

問 16 あなたは、この1年間で次のような地域活動をしたことがありますか。(○はいくつでも)

1. 近所の祭りに参加する
2. 町内会などの活動
3. 地域での子どもたちの指導や世話
4. 近所の子どもの遊び相手
5. 地域の清掃や防災などの活動
6. 体の不自由な人やお年寄りの手助け
7. 献血や募金の協力
8. その他（ ）
9. どれもしたことはない

問 17 あなたは、ボランティア活動をしたことがありますか。(○は1つ)

1. 日常的にボランティアをしている
2. ボランティアを以前していた
3. 何回かしたことがある
4. したことはない

問 18 あなたが参加したいと思うボランティア活動は何ですか。(○はいくつでも)

1. 環境を守る活動（清掃美化活動、リサイクル活動など）
2. 身近な緑を守る活動（花壇づくりなど）
3. 子育てに関する活動（保育園での乳幼児の世話、児童館での児童や幼児の世話、学校給食の活動など）
4. 高齢者・障害者福祉に関する活動（おとしよりや障害者への介護、給食など）
5. スポーツ・文化に関する活動（小学生にスポーツを教えるなど）
6. 学習活動に関する指導、助言、運営協力などの活動（料理、英語、書道など）
7. 国際交流、国際協力に関する活動（通訳、外国人を助けるなど）
8. 地域のイベントやお祭りの手伝い
9. その他（ ）
10. 特になし

少子社会に対する考え方について

問 19 あなたは、少子社会（＝出生率が低下し、子どもの数が減ることにより、将来的には人口規模の縮小が考えられる社会）が、個人の生活にどのような影響を与えますか。（○は主なもの3つまで）

1. 一人ひとりに合った、ゆとりある教育ができる
2. 進学や就職において競争が少なくなる
3. 住宅事情が改善されて、買いやすくなる
4. まわりに子どもが湧り、子どもの社会性が育ちにくくなる
5. 一人ひとりの子どもへの期待が大きくなる
6. 親など周囲の干渉が強まる
7. 親の老後への子どもの負担が大きくなる
8. その他（ ）
9. わからない

問 20 あなたは、少子社会が国や地域社会にどのような影響を与えと思いますか。（○は主なもの3つまで）

1. 人口規模が縮小することにより、環境問題の改善がみられるようになる
2. 就労人口が減少して、就職や再就職などがしやすくなる
3. 女性の社会進出が盛まり、男女が協力し合って生活や社会を築いていく風潮が高まる
4. 若い労働力が不足することにより、経済の活性化や成長が鈍り始める
5. 現役世代の負担や社会保障負担（年金や医療費など）が大きくなる
6. 地域に住む若い世代が減少し、地域の活気がなくなる
7. 地域で子育てをする住民が孤立化し、育児不安が広がる
8. その他（ ）
9. わからない



※本誌のイラストは「キャラクター」の権利。© 株式会社

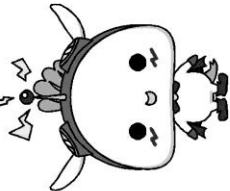
行政サービスへの要望について

問 21 あなたは子育てしやすい環境を整備するために、区はどうしていくのがよいと思いますか。（○は5つまで）

1. 予防接種や乳幼児健診などの母子保健の充実
2. 保育サービスや施設の整備
3. 妊娠や出産の不安や悩みを相談窓口の整備
4. 子育てについて学ぶ機会を増やす
5. 男女がともに子育てにかかわるための意識啓発
6. 子どもの出産・育児にかかる医療費の負担軽減
7. 保育園・幼稚園の費用や教育費の負担の軽減
8. 子育て家庭への手当の支給や税制優遇措置
9. 子育ての不安や悩みの相談窓口の整備
10. 育児休暇や育児休業などの企業内制度の整備
11. 女性が就労しやすい環境の整備（職種の意識改革や協力など）
12. 道路や公園などの子どもが安心して暮らせる環境の整備
13. 子育て家庭の住宅の確保や家賃の補助
14. 子どもの創造性や感性を伸ばす教育機会の普及
15. いじめや差別などをなくす教育の推進
16. 犯罪のない社会づくり
17. 地球温暖化やダイオキシンなどの環境問題に対する対策
18. 水や緑などの自然保護の推進
19. 食品の安全性の確保
20. その他（ ）
21. わからない
22. 特にない

問 22 最後に、子育ての環境や支援策等に関して、ご意見・ご要望等をご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。
返信用封筒に入れてご返送ください。切手を貼る必要はありません。



※本誌のイラストは「キャラクター」の権利。© 株式会社

5 子育て関係施設従事者の調査票

練馬区の子ども・子育て支援に関する ニーズ調査にご協力ください (子育て関係施設従事者用)

平成 24 年 8 月に子ども・子育て支援法が成立し、早ければ平成 27 年度から新しい子ども・子育て支援制度が始まる予定です。新制度では、子育て中の区民の皆さまにアンケートを行い、その結果に基づいて、「地域の子育て支援をどのように実施するか」等を計画にまとめ、子育て支援サービスの充実を図っていくことになります。この計画の策定に当たっては、子育て中の皆さまのご意見を踏まえることももちろんですが、計画をより実効性の高いものとするため、幅広い世代の方のご意見も踏まえたくうえで、今後の区の子ども・子育て支援策を検討していくことが重要と考え、このアンケートを実施することとしました。

お忙しい皆さまに、設問が多いアンケートをお願いして大変恐縮ですが、練馬区を安心して子どもを産み、楽しく子育てのできるまちとしていくために必要な調査となりますので、ぜひご協力をお願いいたします。

この調査をお願いする方は、区内の子育て関係施設に従事している方です。認可保育所、学童クラブ、幼稚園等 54 施設を選ばせていただきました。

お答えいただいた内容については、すべて統計的に処理し、個々の回答やプライバシーに関わる内容が公表されたり、他の目的に利用されることは一切ございません。

ご協力のほどよろしくお願いいたします。

平成 25 年 10 月

練馬区

【ご記入にあたってのお願い】

- この調査票では、調査対象者を「あなた」とします。ご本人がお答えください。
- 回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。その他回答については、() 内に内容を具体的に記入してください。
- 特にことわりがない限り、すべての質問にお答えください。該当者だけにお答えいただく質問もありますが、その場合は、質問の説明に従ってお答えください。
- この調査は無記名であり、皆様の回答はすべて統計的に処理し、本調査の目的以外には決して使用いたしませんので、思いのままをお答えいただけますようお願い申し上げます。
- 記入した調査票は、指定された期日までに、調査票が入っていた封筒に入れ、封をしたうえで、施設経由で提出してください。
- アンケートに關してご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

練馬区 こども家庭部 子育て支援課 子育て支援計画担当係
電話：03-5984-1306
FAX：03-5984-1220

調査対象者の状況

F 1 はじめにあなたご本人のことについておうかがいします。(それぞれ○は1つ)

(1) 性別

1. 男	2. 女	
(2) 年齢		
1. 30歳未満	2. 30～39歳	3. 40～49歳
4. 50～59歳	5. 60歳以上	
(3) 施設の種類		
1. 区立保育園	2. 私立保育園	3. 認証保育所
4. 保育室	5. 駅型グループ保育室	6. 児童館
7. 学童クラブ	8. 子育てのひろば	9. NPO子育て支援グループ
10. 児童館増設施設	11. 区立幼稚園	12. 私立幼稚園
13. 保健相談所	14. 厚生文化会館	15. 地区区民館
(4) 職種		
1. 保育士	2. 幼稚園教諭	3. 児童指導員
4. 保健師	5. 看護師	6. 栄養士
7. その他 ()		

子育て支援に関する悩み、不安等について

問 1 あなたが関わっている子どもに対して、「近頃こんな子どもが増えている」と悩んでいることはありませんか。

(1) 3歳未満幼児、(2) 3歳以上幼児、(3) 小学生、それぞれについてご記入ください。

((1)～(3)とも、それぞれ○はいくつでも)

	(1) 3歳未満幼児 !ある場合○	(2) 3歳以上幼児 !ある場合○	(3) 小学生 !ある場合○
1 言葉や行動が乱暴である	1	2	3
2 友だちに優しくない	1	2	3
3 夜遅くまで起きている	1	2	3
4 朝食抜きである	1	2	3
5 生活が規則正しくない	1	2	3
6 自己中心的である	1	2	3
7 友だちと協調できない	1	2	3
8 あいさつができない	1	2	3
9 人の話を聞けない	1	2	3
10 集中できない	1	2	3
11 基本的生活習慣の自立が遅い	1	2	3
12 体力がない	1	2	3
13 我慢ができず、すぐ暴力行為にでる	1	2	3
14 その他 ()	1	2	3

1

問 2 あなたが関わっている子どもの保護者（お母さん、お父さん）に対して、「近頃こんなお母さん、お父さんが増えている」と悩んでいることはありませんか。

(1) お母さん、(2) お父さん、それぞれについてご記入ください。

((1)、(2)とも、それぞれ○はいくつでも)

	(1) お母さん !ある場合○	(2) お父さん !ある場合○
1 権利意識が強い	1	2
2 子どもに過保護・過干渉である	1	2
3 子どもを放任する	1	2
4 子どもの発育・発達に敏感である	1	2
5 子どもの発育・発達に無頓着である	1	2
6 食事に無頓着である	1	2
7 しつけや教育に熱心でない	1	2
8 子育てに不安感・負担感を持っている	1	2
9 子育てに喜びや充実感を持っていない	1	2
10 子どもとの接し方、遊び方がわからない	1	2
11 子育てに自信がない	1	2
12 子育てをマニュアル化して考える	1	2
13 育児知識を振り回す	1	2
14 その他 ()	1	2

問 3 あなたは、家庭・保護者との連携に関して、どのようなことを重視していますか。(○は主に重視しているもの3つ)

1. 児童家庭調査票	2. 母子健康手帳	3. 連絡帳
4. 保育園、幼稚園、給食便り	5. クラス便り	6. 保護便り
7. 給食便り	8. 登園・降園時、来所時の連絡	9. 保育参加・参観
10. 保護者会	11. 行事	12. 家庭訪問
13. 子育てに関する相談	14. 保育方針等についての保護者との話し合い	
15. 緊急時の連絡	16. その他 ()	

子育てに関する情報、相談の状況について

問 4 あなたは、子育てに関する情報を、どのようにして入手されていますか。(○はいくつでも)

1. 職場内の同僚	2. 職場以外の知り合い、出身校などのツテ
3. 国担当部署からの印刷物・報告書	4. 郡担当部署からの印刷物・報告書
5. 区担当部署からの印刷物・報告書	6. テレビ、ラジオ、新聞
7. 乳幼児の保育・育児に関する市販の雑誌	
8. 保育・幼児教育、小児保健等に関する学術学会・研究会の機関誌	
9. 保育園関係団体の発行する月刊誌、図書	10. インターネット上のホームページ
11. その他 ()	

2

問5 あなたは、次のような子育てについての相談の内容にどの程度関わっていますか（なお、ここでのいう相談とは、入所の問い合わせなどは含まず、育児・子育てに関する相談とします。）。○はそれぞれ1つ）

	1 よくある	2 時々ある	3 ほとんどない
1 睡眠・食事等の基本的な生活習慣	1	2	3
2 身体的发展・社会性の発達等	1	2	3
3 病气・怪我等の医学的問題	1	2	3
4 家庭・地域等の生活環境	1	2	3
5 しつけ・教育等の育育方法	1	2	3
6 その他（ ）	1	2	3

問6 あなたが関わっている子どもの家庭では、子育てに関する情報を、どのようにして入手されていると思いますか。○はいくつでも

1. 親族（親・兄弟姉妹など）	2. 隣近所の人、地域の知人、友人
3. 子育てサークルの仲間	4. 保育園、幼稚園、学校
5. 児童館、学童クラブ、地区区民館、厚生文化会館など	7. 区の広報やパンフレット
6. 保健所、保健相談所	9. 本（子育て雑誌・育児書）など
8. テレビ、ラジオ、新聞	11. 地域情報誌（コミュニケーション誌）
10. インターネット	13. 情報の入手先がない
12. その他（ ）	
14. 情報の入手手段がわからない	

問7 あなたが関わっている子どもの家庭では、子育てに関する悩みや不安などをどこに相談されていると思いますか。○はいくつでも

1. 配偶者・パートナー	2. その他の親族（親、兄弟姉妹など）
3. 隣近所の人、地域の知人、友人	4. 職場の人
5. 保育園、幼稚園、学校の保護者の仲間	6. 子育てサークルの仲間
7. 保育士、幼稚園の先生、学校の先生	8. かかりつけ医など
9. 保育園、幼稚園	10. 子ども家庭支援センター
11. 児童館、学童クラブ、地区区民館	12. 子育てのひろば「ひまわり」「にこにこ」など
13. 総合福祉事務所の母子自立支援員	14. 民生・児童委員、主任児童委員
15. 総合教育センターの教育相談室	16. 保健所、保健相談所
17. 児童相談所（東京都児童相談センター）	18. 民間の電話相談
19. ヘルプセンター	20. インターネットの子育てサイト
21. その他（ ）	22. 相談すべきことはない

問8 あなたが子育てについての相談を受ける相手は、相談の対象となる子どもからみて、どのような関係の人ですか。○はいくつでも

1. 母親	2. 父親	3. 祖母
4. 祖父	5. 兄弟姉妹	6. その他（ ）

問9 子育てについての相談の対象となる子どもの年齢で、多いのはどれですか。○はいくつでも

1. 新生児から6か月未満児	2. 6か月児から1歳未満児	3. 1歳児
4. 2歳児	5. 3歳児	6. 4歳児
7. 5歳児	8. 6歳以上児	

問10 子育てについての相談を進めていく上で、現在直面している問題がありますか。○は1つ）

1. 問題がある	2. 問題はない
----------	----------

問10-1 問10で「1. 問題がある」と答えた方へ、それはどのような問題ですか。○は主なもの3つ）

1. 対応できる相談に限界を感じている	8. 相談に関する自己研修をするなどの機会がない
2. 相談に時間や人手がかかる	9. 専門家による助言指導や事例研究会など、組織的な資質向上（研修等）の機会が少ない
3. 相談専門の電話がない	10. 困難事例に対応する場合、地域の子育て支援者が集まって打ち合わせを行うなど、地域としての援助体制が弱い
4. 日常業務に支障が出ている	11. 思っていたよりも、相談件数が少ない
5. 専用の相談室がないために、プライバシーへの配慮の面から、相談を受けにくい	12. その他（ ）
6. 相談の担当者（相談員）がおらず、困っている	
7. 相談に対応するだけの余力不足を感じる	

問11 あなたは、子育てについての相談を受けた場合、その後の援助をしていますか。○は1つ）

1. 援助している	2. 特に援助していない
-----------	--------------

問11-1 問11で「1. 援助している」と答えた方へ、それはどのような援助ですか。○は主なもの3つ）

1. 相談が電話による場合、子どもを連れての来所をうながす	6. 一時預かりの利用を勧める
2. 相談内容によって専門機関（保健所、病院、福祉事務所、児童相談所、等）を具体的に教え、紹介する	7. 育児講座等へさそふ
3. 依頼者に、その後の経過や結果を伝えてくれるように言う	8. その他（ ）
4. 場合によっては、家庭訪問する	
5. 子育てサークルや、子育てのひろばなどを紹介する	

問12 子育てについての相談で、あなたの組織だけで対応できない場合は、次のうちのどの機関に紹介するケースが多いですか。○はいくつでも

1. 保育園	2. 幼稚園	3. 学校関係者
4. 児童館、学童クラブ、地区区民館	5. 子どもの主治医	6. 子ども家庭支援センター
7. 区の子育て支援課、保育課、福祉事務所	9. 区の保健所、保健相談所	10. 福祉施設など
8. 民生・児童委員、主任児童委員	11. 児童相談所（東京都児童相談センター）	
12. 警察当局	13. その他（ ）	
14. 紹介するケースはほとんどない		

子育て支援に関する連携、協力、虐待の状況について

問13 あなたは子育て支援活動を行うに当たって、他団体との程度、連携、協力を行っていますか。(○は1つ)

1. 絶えず連携・協力している
2. 必要に応じて連携・協力している
3. あまり連携・協力していない
4. 連携は連携・協力の必要がない

問13-1 問13で「1. 絶えず連携・協力している」、「2. 必要に応じて連携・協力している」と答えた方へ、
連携・協力の内容として多いものをお知らせください。(○はいくつでも)

1. 日常的な情報交換を行っている
2. 何か困ったことがあったときに相談している
3. 困難事例に対応する場合、地域の子育て支援者が集まってカンファレンスを行っている
4. プログラムやイベントをともに企画している
5. プログラムやイベントを実施する際に入手等を貸し借りしている
6. プログラムやイベントを行う際にアドバイスを受けたり情報交換している
7. その他 ()

問14 あなたが関わっている子どもの中に、保護者から虐待を受けている子どもがいますか。(○は1つ)

1. 受けている子どもがいる
2. 受けていると思われる子どもがいる
3. 受けていると思われない子どもはいない

問14-1 問14で「1. 受けている子どもがいる」と答えた方へ、虐待の判断は主にどのような情報に基づいてなされましたか。(○はいくつでも)

1. 子どもの保護者自身の訴え、相談
2. ほかの子どもの保護者
3. 地域の住民
4. 保育園
5. 幼稚園
6. 学校関係者
7. 児童館、学童クラブ、地区区民館
8. 子どもの主治医
9. 子ども家庭支援センター
10. 区の子育て支援課、保育課、福祉事務所
11. 区の保健所、保健相談所
12. 病院・診療所
13. 福祉課
14. 児童相談所(東京都児童相談センター)
15. 民生・児童委員、主任児童委員
16. 警察当局
17. その他 ()

問15 親と子が健やかに育ち合うようにするために、あなたは「子育て支援者」として、行政はどこに力を入れていくと思いますか。(○はいくつでも)

1. 児童館など、親子が安心して集まれる身近な場、イベントの機会を充実させる
2. 子連れでも出かけやすく楽しめる場所を充実させる
3. 子育てに困った時に相談しだり情報が得られだりする場を充実させる
4. 保育園の開設、保育園を利用できる日数や時間帯を拡充する
5. 幼稚園の開設、幼稚園を利用できる日数や時間帯を拡充する
6. 幼稚園で就園している子どもと一緒に就園前の子どもも預かるサービスを充実させる
7. 保育園や幼稚園にかかると費用負担を軽減できるようにする
8. 保育園の施設、学童クラブを利用できる日数や時間帯を拡充する
9. 専業主婦など誰でも気軽に利用できるNPO等による保育サービスを充実させる
10. 安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備する
11. 多子世帯の優先入居や広い部屋の割り当てなど、住宅面の配慮をする
12. 残業時間の短縮、年次有給休暇や育児休暇の取得促進など、事業主に対して職場環境の改善を働きかける
13. 子育てについて学ぶ機会を充実させる
14. 交通事故に遭わないよう、交通安全対策を強化する
15. 不審者などによる犯罪に巻き込まれないよう、防犯対策を強化する
16. その他 ()

問16 あなたは、あなたの職場で子どもを預かる際に、その身体的安全を確保し、危険な目に遭わないよう、どのようなことを心がけたり実行したりしていますか。(○はいくつでも)

1. 玄関、門前を、勤務時間中、閉鎖している
2. 外理の人間が施設を訪れる際には、事前に予約してもらおうようにしている
3. 職員間で、日ごろから防犯について、話し合いをしている
4. 子どもに対して、不審者などへの対応の仕方を話している
5. 定期的に、警察関係者などを招いて、防犯のための訓練を行っている
6. 保護者に対して、防犯意識を高めるよう、「たより」等を通じて啓発している
7. 保護者会等を通じて、意思の疎通を図っている
8. その他 ()

問17 最後に、これからの保育施策や子育て支援施策等に関して、日常の子育て支援業務を行う中で、下記のよ
うな項目について地域で取り組んでいきたいとお考えになっていることがございましたら、ご意見・ご要
望等をご自由にお書きください。

(1) 情報の提供、相談に関して	
(2) 他機関との連携・協力に関して	
(3) 区民にもっと活用して欲しいサービス内容やそのための方法に関して	
(4) サービスの質の向上に関して	
(5) 苦情解決、利用者保護の仕組みに関して	
(6) その他	

ご協力ありがとうございます。封筒に入れ、封をし、施設経由でご返送ください。